

北海道産ナガチキムシの記録 (IV)

伊藤 勝彦¹⁾・乙幡 康之²⁾

Notes on the families, Tetratomidae, Melandryidae and Synchroidae (Coleoptera)
from Hokkaido, Japan (IV)

Katsuhiko ITO ¹⁾, Yasuyuki OPPATA ²⁾

はじめに

筆者のうち伊藤は「北海道産ナガチキムシの記録 I－III」を北海道内在住の同好者各位の協力を得て、

主として未発表の記録を報告した（伊藤 1999, 2002, 2009a, 2009b）。本報では、今まで文献として報告されてきたものを中心に記録を整理してみたい。整理に

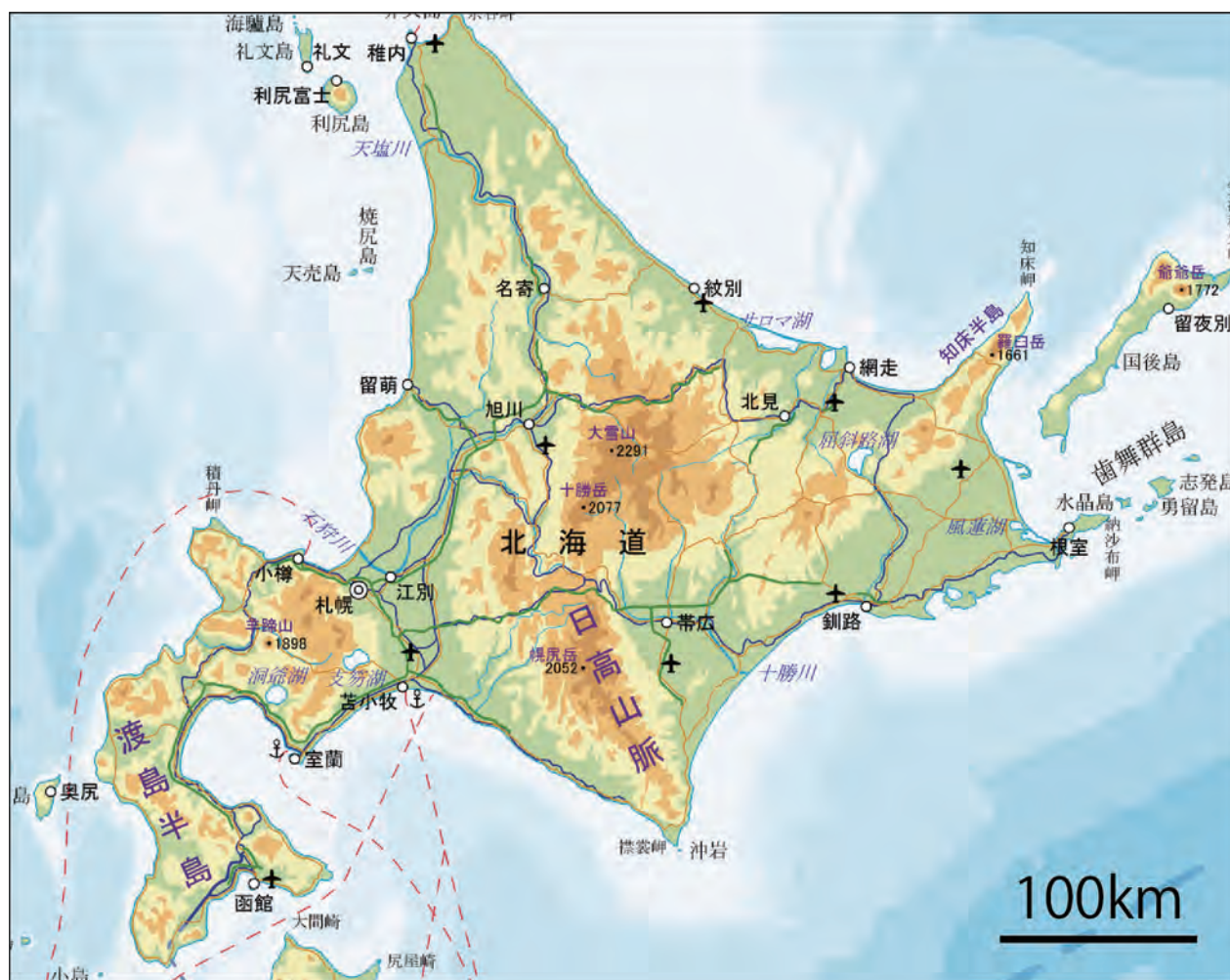


図 1. 北海道地図 (地理院地図を使用)

- 1) 〒 082-0017 北海道河西郡芽室町東 7 条 6 丁目 1-15
1-15 East 7 jo 6 chome, Memuro-cho, Kasai-gun, Hokkaido 082-0017 Japan
- 2) ひがし大雪自然館 〒 080-1403 北海道河東郡上士幌町字ぬかびら源泉郷 48-2
Higashitaisetsu Nature Center 48-2 Nukabira-gensenkyo, Kamishihoro-cho, Kato-gun, Hokkaido 080-1403 Japan



目 録

名・和名・科及び種の取り扱い，配列は水野（2011）に従った．また，伊藤（2002）でまとめたナガクチキムシ類を2020年2月末までに入手できた文献に基づき作成した．同一個体と思われるものは，先に出版されたものを優先し，文献に具体的な採集記録が不十分であったり，欠落しているもののうち標本の保管されているものは，確認精査したうえで取り扱いを決めた．

HALLOMENINAE コナガクチキムシ亜科

<記録>石狩〔札幌市〕札幌市（水野 2011），手稲区（日本鉄道建設公団 2001），空知〔芦別市〕滝里（北海道電力株式会社 1995），上川〔上川町〕上川町（保田 2004），日東（保田 1980），ルベシナイ川（保田・野田 1980），層雲峡（保田 1980，1985a，豊嶋ほか 1991a），留辺志部川流域（保田・野田 1980），胆振〔厚真町〕厚幌ダム（北海道 1998），日高〔日高町〕日勝峠三国沢（伊藤 2009a），十勝〔新得町〕トム

ラウシ温泉周辺（平野ほか 2017）．〔上士幌町〕三股（芦田 1986, 豊嶋ほか 1991a）, シンノスケ 3 の沢（宮下 1993）, メトセツ林道（芳賀ほか 2010）．釧路〔釧路町〕円山（伊藤 1998b）．根室〔根室市〕九番沢第二支線林道（伊藤 1999, 2001）．

豊嶋ほか（1991a）は「本州中部山岳地帯には比較的多い種であるが、北海道での採集事例は少ない」と述べており、図 3 を見てもその通りである．

2. *Hallomenus (Xeuxes) tokejii* Nomura et Kato トケジヒメナガクチキ（図 4）

<記録> 石狩〔札幌市〕円山（伊藤 2002, 2009a）．空知〔岩見沢市〕岩見沢市（伊藤 2009a）．上川〔旭川市〕嵐山（佐々木 1993, 伊藤 2002）．〔上川町〕リクマンベツ川（株式会社開発工営社 2004, 上川町（保田 2009）．〔愛別町〕安足間（佐々木 1993）．オホ〔北見市〕常呂栄浦（佐々木ほか 2015）．十勝〔足寄町〕音子取水ダム（伊藤 2002）．

水野（1992d）で「記録なし、標本確認」とされていたが、佐々木（1993）が北海道初記録として報告している．

3. *Mycetoma affine* Nikitsky ムネモンコナガクチキ（図 5・図 6A・B）

= *Mycetoma sapporensis* Nakane

<記録> 石狩〔札幌市〕円山（中根 1991, 伊藤 2002, 2009a, 水野 2011）．〔江別市〕野幌（伊藤 2002）．〔千歳市〕鳥柵舞（水野 2011）．オホ〔小清水町〕美和（加藤 1993 as *Mycetoma* sp., 伊藤 2002, 2009a, 水野 2011）．

小清水町美和での採集者は全て加藤敏行氏（北見市）であり、その後の追加記録はない．加藤（2002）は「*Mycetoma* 属が晩秋から初冬に発生するヤニタケと言う種類の茸（菌類）に依存するという特異な生態によるもので、その生態的情報すらあまり知られていなかったことが発見が遅れたがの原因であるようだ」と述べている．木元（2007）は、東京都西奥多摩で採集した *Mycetoma sapporensis* ムネモンコナガクチキの個体の特徴を「前胸背板の四つの黒い斑紋が明確に分かれるものから、それらが広がって前胸背板全体から頭部にかけて黒くなったものまで連続的な差異が見られた」と述べ、「黒い個体は、*Mycetoma affine* Nikitsky チシマコナガクチキと非常に良く似ている．筆者は両種の触角、小顎ひげ前胸背版、腹板などを比較検視したが、差異は認められなかった」と述べている．また水野（2011）は、*Mycetoma affine* チシマコナガクチキと *Mycetoma sapporensis* ムネモンコナガクチキを同一種

みなしとして扱っているので本報ではこれに従った．また伊藤（2009a）で報告した十勝管内上士幌町市街地の個体は、再検鏡した結果、*Mycetoma sapporensis* ムネモンコナガクチキでないことが判明したので記録から削除する．



図 3. ミヤマヒメナガクチキの分布



図 4. トケジヒメナガクチキの分布



図 5. ムネモンコナガクチキの分布

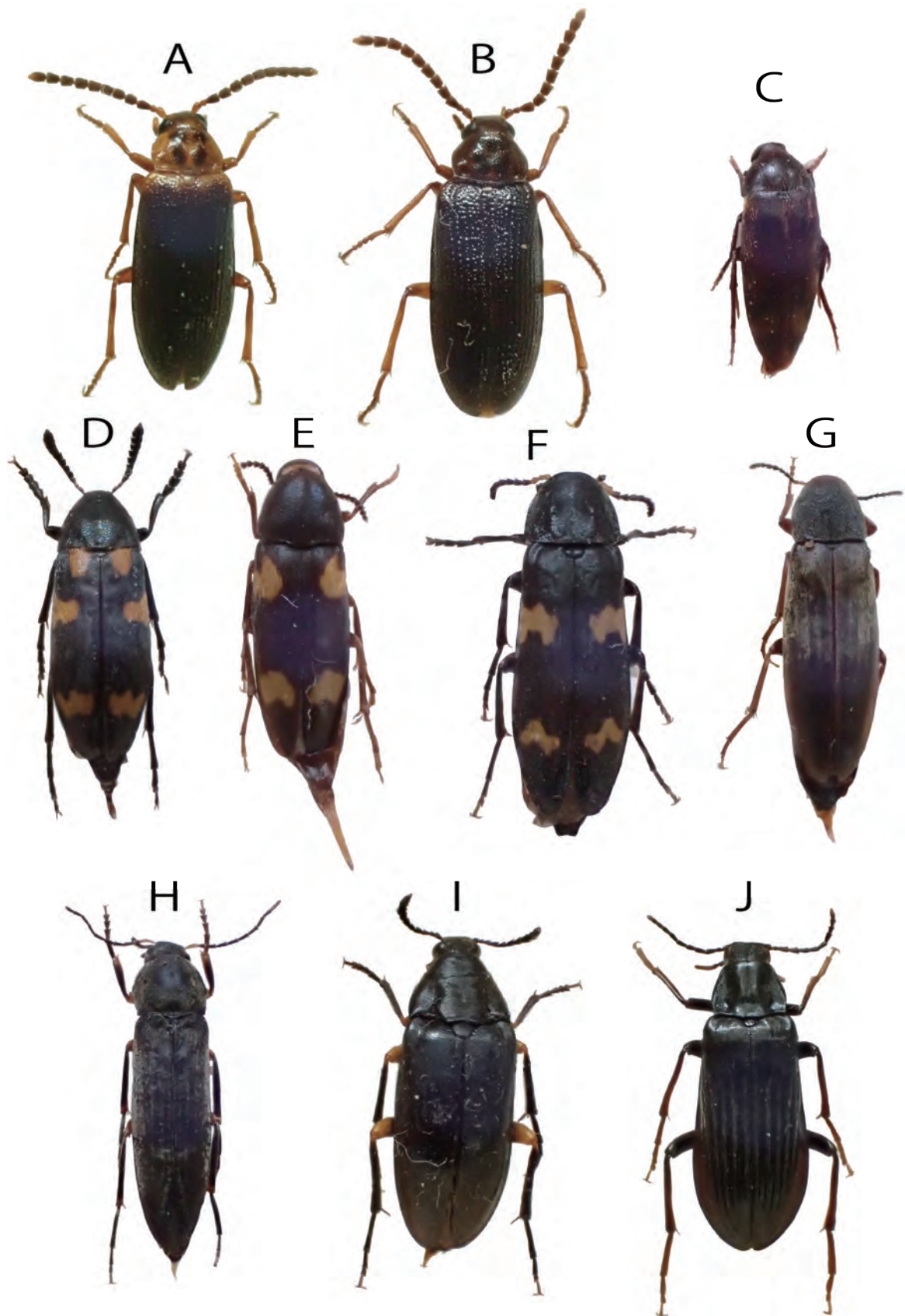


図 6. A: ムネモンコナガクチ (札幌市円山産), B: ムネモンコナガクチキ (小清水町美和産), C: ニキツキイニセハナノミ (鹿追町産), D: ムツモンナガクチキ (猿払村産), E: ヨツボシホソナガクチキ (陸別町小利別産), F: ハガタホソナガクチキ (芽室町産), G: ビロウドホソナガクチキ (札幌市藻岩山産), H: モモキホソナガクチキ (札幌市円山産), I: ボウズナガクチキ (札幌市円山産), J: オオナガクチキ (日高町日勝峠産).

EUSTROPHINAE タマガタナガクチキ亜科

1. *Eustrophus niponicus* Lewis ヒメカツオガタナガク
チキ (図 7)

<記録>石狩〔札幌市〕Sapporo (Lewis 1895). 釧路〔弟子屈町〕川湯 (豊嶋ほか 1991a).

原記載以外は、北海道では弟子屈町川湯の記録しかないようである。

2. *Synstrophus macrophthalmus* (Reitter) カツオガタナ
ガクチキ (図 8)

<記録>石狩 [札幌市] 札幌市 (水野 2011), 札幌 (豊嶋ほか 1991a), 円山 (鈴木 1988, 豊嶋ほか 1991a, 宮下 1993, 伊藤 2002, 水野 2011), 豊平峡 (水野 2011). [千歳市] 千歳市 (豊嶋ほか 1991a), 泉沢 (千歳市・千歳市土地開発公社 1986). 樺山 [上ノ国町] 膳棚 (伊藤 2002). [今金町] 美利河ダム (国土交通省 2002). 後志 [赤井川村] (北海道環境データベース). 空知 [新十津川町] (北海道開発局 1992). 上川 [旭川市] 台場 (佐藤 1991), 嵐山 (伊藤 2002). [上川町] 真水沢 (国土交通省 2003d), 層雲峡 (株式会社エコニクス 2009, 2010, 2011, 水野 2011). [愛別町] 安足間 (豊嶋ほか 1991a). [東川町] 忠別ダム (西島ほか 1981, 北海道開発局 1984). [富良野市] 原始ヶ原登山口 (伊藤 2009a). [士別市] 旧朝日町奥士別 (伊藤 2002), 東山 (伊藤 2002). [幌加内町] 太釜別林道 (豊嶋ほか 1991a), 朱鞠内 (伊藤 2002), 添牛内 (伊藤 2002), 北母子里 (豊嶋ほか 1991a), 母子里 (伊藤 2002). [下川町] サンルダム (北海道開発局 1994b). 宗谷 [利尻島] 利尻島 (豊嶋ほか 1991a). [中頓別町] ボロヌプリ山塊中ノ川林道 (芳賀 1989). オホ [置戸町] 中里 (伊藤 2002). [大空町] 旧女満別町湖南 (伊藤 2002). [北見市] 常呂米浦 (佐々木・松本 2018). 最上峠 (加藤 1993). 胆振 [苫小牧市] 苫小牧市 (水野 2011). [伊達市] 旧大滝村 (北海道環境データベース). 日高 [えりも町] 猿留川林道 (宮下・杉本 1993b). 十勝 [新得町] 十勝川原流部 (西島・小野 1982), 曙橋周辺 (平野ほか 2017). [上士幌町] 上士幌町 (水野 2011). 本町 (伊藤 2002, 芳賀ほか 2010), 黒石平 (芳賀ほか 2006). [本別町] 美里別 (伊藤 2009a). 釧路 [釧路市] 阿寒町雌阿寒岳 (豊嶋ほか 1991a), 阿寒町阿寒湖畔 (芳賀 1990a), 阿寒町阿寒湖畔ボッケ周辺 (中谷ほか 2009). [弟子屈町] 和琴半島 (中谷・柏崎 2019).

採集事例, 個体数ともに多い種である.

3. *Holostrophus (Holostrophus) diversefasciatus* Pic カト
ウヒメナガクチキ (図 9)

<記録> 空知 [三笠市] 唐松 (石濱・原 2006). 胆振 [苫小牧市]
北海道大学演習林 (秋田 1989).

現在の所、北海道内の記録は秋田（1989）、石濱・原（2006）の2例だけである。

4. *Holostrophus (Holostrophus) leisi* Csiki ヨツボシヒメ
ナガクチキ (図 10)

<記録>石狩〔札幌市〕円山（宮下 1993，伊藤 2002），砥山（鈴木 1988），〔北広島市〕（北海道環境データベース），檜



図 7. ヒメカツオガタナグチキの分布

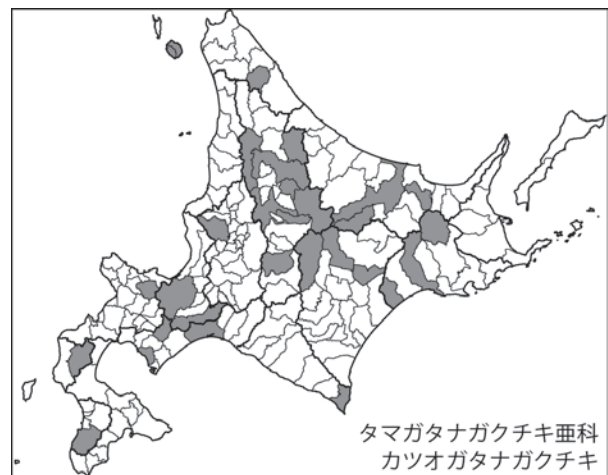


図 8. カツオガタナガクチキの分布



図 9. カトウヒメナガクチキの分布

山〔今金町〕美利河ダム（国土交通省 2002）. 後志〔ニセコ町〕羊蹄山麓（石濱・原 2006）. 〔倶知安町〕高嶺（佐々木 2004）. 上川〔東川町〕江卸（伊藤 2002）. 〔士別市〕岩尾内ダム（国土交通省 2003b）. オホ〔興部町〕豊畑（石濱・原 2006）. 〔北見市〕常呂栄浦（佐々木・松本 2018）. 十勝〔新得町〕トムラウシ温泉周辺（平野 2016）, トノカリウシュベツ川流域（平野 2016）. 〔音更町〕十勝川温泉付近（石濱・原 2006）. 〔足寄町〕芽登（伊藤 2002）. 釧路〔弟子屈町〕高米（水野 2011）, 和琴半島（中谷・柏崎 2019）. 〔標茶町〕中茶安別（伊藤 2002）, ニツ山（飯島 1988）, ベカンベ台（飯島 1988）.

鈴木（1988）が北海道初記録を報じている.

MELANDRYIDAE ナガクチキムシ科

MELANDRYINAE ナガクチキムシ亜科

ORCHESIINI ニセハナノミ族

1. *Orchesia (Clinocara) elegantula* Lewis アヤモンニセハナノミ（図 11）

<記録> 石狩〔石狩市〕旧厚田村（水野 2011）. 〔札幌市〕藻岩山（水野 2011）, 砥山（鈴木 1988, 1991）, 円山（鈴木 1988, 伊藤 2002）, 豊平峡谷ダム（国土交通省 1999b）. 〔北広島市〕旧広島町野幌（鈴木 1991）. 渡島〔北斗市〕旧上磯町細小股（伊藤 1999）. 〔函館市〕旧恵山町古武井川（伊藤 2002）, 旧南茅部町尾札部（伊藤 2002）. 〔八雲町〕トワルタツブコップ岳（水野 2011）. 〔七飯町〕Junsai（Lewis 1895）, 仁山（伊藤 2002）. 〔木古内町〕札刈（伊藤 1999）. 後志〔小樽市〕北海道の自然と生物（1994）. 〔ニセコ町〕羊蹄山麓（石濱・原 2006）. 〔喜茂別町〕川上中山峠（水野 2011）. 空知〔三笠市〕幾春別川（北海道開発局 1994a）, 唐松（石濱・原 2006）. 〔美瑛市〕光珠内（石濱・原 2006）. 〔夕張市〕シューパロダム（農林水産省・北海道開発局 1995）. 〔芦別市〕滝里（北海道電力株式会社 1995）. 上川〔旭川市〕嵐山（伊藤 2002）. 〔上川町〕白川（株式会社エコニクス 2010, 2011）, リクマンベツ川（株式会社開発工営社 2004）. 〔美瑛町〕白金美瑛川（株式会社ドーコン 2006b）. 〔南富良野町〕金山ダム（国土交通省 1994c）. 〔幌加内町〕朱鞠内（鈴木 1988）, 太釜別林道（豊嶋ほか 1991a）. 〔士別市〕岩尾内ダム（国土交通省 1994b, 1997c）. 〔占冠村〕（北海道環境データベース）. 〔下川町〕サンルダム（北海道開発局 1994b）. オホ〔紋別市〕大山中腹（石濱・原 2006）. 〔興部町〕豊畑（石濱・原 2006）. 〔北見市〕常呂栄浦（佐々木ほか 2015）, 常呂川水系（国土交通省 2010）. 〔湧別町〕佐呂間別川（北海道 2003）. 〔斜里町〕羅臼岳（豊嶋ほか 1991a）. 胆振〔厚真町〕厚幌ダム（北海道 1998）. 日高〔日高町〕新町（伊藤 1999）. 〔浦河町〕元浦川ニシュマオマナイ林道（宮下・杉本 1993a, 宮下 1993）. 〔えりも町〕猿留川林道（宮下 1993, 宮下・杉本 1994）. 〔平取町〕二風谷ダム（国土交通省 2003a）. 十勝〔新得町〕トムラウシ温泉周辺（平野ほか 2017）, 新得神社山（菅原 1996）. 〔上士幌町〕上士幌駅跡土場（芳賀 1993）, 市街地（伊藤 1999）, 上音更（宮下 1993）, 糠平（芳賀ほか 2010）, 糠平湖右岸五の沢（芳賀ほ

か 2010）, 幌加（豊嶋ほか 1991a, 水野 2011）, 三股（伊藤 2002, 水野 2011）, 三股十三の沢（伊藤 2009a）, シンノスケ三の沢（伊藤 2009a）, 三股石狩岳シュナイダーコース登山口（宮下 1993）, 糠平温泉山（宮下 1993）, メトセツ林道（芳賀ほか 2010）. 〔芽室町〕国見山（伊藤 2009a）, 美生川流域（伊藤 2008）. 〔音更町〕十勝川温泉付近（石濱・原 2006）, 駒場（伊藤 2009a）. 〔足寄町〕市街地（伊藤 2009a）, 上ワシッブ川右股九大演習林（1ex., 10-VII-2002 芳賀馨採集）. 〔大樹町〕晩成（伊藤 2009a）, キモントウ沼付近（伊藤 2009a）. 釧路〔釧路町〕円山（伊藤 1998b）, 春採湖北岸（中谷 2016b, 2017, 2020）. 〔弟子屈町〕和琴半島（中谷・柏崎 2019）. 〔浜中町〕霧多布湿原（特定非営利活動法人霧多布湿原トラスト 2010）. 根室〔根室市〕別当賀駅～天狗岩川河口（1ex., 27-VII-2013 芳賀馨採集）, 九番沢第二支線林道～落石駅（2exs., 27-VII-2013 芳賀馨採集）. 〔羅臼町〕Rausu（Nakane 1963）, 羅臼岳（豊嶋ほか 1991a）. 〔中標津町〕標津川（北海道 2005a）. 〔標津町〕標津川（北海道 2005a）.

2. *Orchesia (Clinocara) imitans* Lewis アカオビニセハナノミ（図 12）



図 10. ヨツボシヒメナガクチキの分布

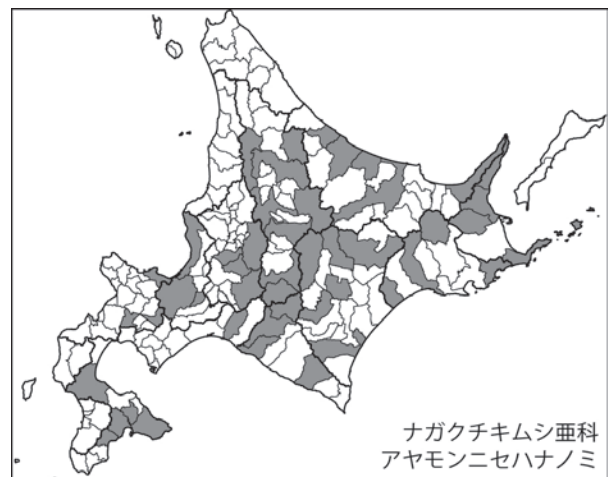


図 11. アヤモンニセハナノミの分布

<記録> 石狩 [札幌市] 藻岩山 (水野 2011), 観音沢 (鈴木 1988), 砥山 (鈴木 1991). [江別市] 野幌森林公園 (坂本ほか 1976), 野幌 (伊藤 2002). [千歳市] 支笏湖 (多比良 1993). [北広島市] 旧広島町野幌 (鈴木 1991). [恵庭市] 金山林道 (鈴木 1991), 漁川 (国土交通省 1996). 渡島 [北斗市] 旧上磯町細小股 (伊藤 2002). [八雲町] 日大演習林 (水野 2011). [松前町] 明神 (伊藤 2002). [七飯町] 仁山 (伊藤 2002). [木古内町] 札刈 (伊藤 1999, 2002). 檜山 [せたな町] 旧北松山町愛知 (伊藤 2002). [奥尻町] 奥尻島 (水野 2011). 後志 [ニセコ町] 羊蹄山麓 (石濱・原 2006). [赤井川村] 後志赤井川 (水野 2011). [倶知安町] 比羅夫 (佐々木 2003). [小樽市] 奥沢水源地区 (山本 2006b), 小樽市 (日本鉄道建設公団 2001). 空知 [芦別市] 滝里 (伊藤 2009a). 上川 [上川町] 上川公園 (伊藤 2002), 真水沢 (国土交通省 2003d), リクマンベツ川 (株式会社開発工営社 2004), 層雲峡ビジターセンター研究報告 (2004), 赤石川 (保田 2004). [美瑛町] 白金美瑛川 (株式会社ドーコン 2006b). [南富良野町] 金山ダム (国土交通省 1993, 1994c). [幌加内町] 北母子里 (鈴木 1988), 太釜別林道 (豊嶋ほか 1991a). オホ [紋別市] 大山中腹 (石濱・原 2006). [興部町] 豊畑 (石濱・原 2006). [小清水町] 美和 (伊藤 2009a). [遠軽町] 生田原町安国 (鈴木 1988). [北見市] 常呂栄浦 (佐々木ほか 2015). [美幌町] (北海道環境データベース). [斜里町] 羅白岳 (豊嶋ほか 1991a). 胆振 [苫小牧市] 安平川 (北海道 2011a). [伊達市] 旧大滝村 (北海道環境データベース). [厚真町] 厚幌ダム (北海道 1998). 日高 [日高町] 新町 (伊藤 1999) [様似町] 様似ダム (宮下 1993). [えりも町] 猿留川林道 (宮下 1993, 宮下・杉本 1993b, 1994). [新ひだか町] 旧静内町メナシベツ川上流 (堀 1995). 十勝 [上士幌町] 上士幌市街地 (伊藤 2009), 上士幌駅跡土場 (芳賀 1993), 糠平 (芳賀ほか 2010), 糠平湖右岸五の沢 (芳賀ほか 2010), 上音更 (宮下 1993), 音更川本流 (宮下 1996), 三股 (芳賀ほか 2010), 三股十三の沢 (伊藤 2009a), メトセツ林道 (芳賀ほか 2010), 市街地 (伊藤 2009a). [音更町] 十勝川温泉付近 (石濱・原 2006), 駒場 (伊藤 2009a). [芽室町] 登の沢 (伊藤 2009a), 国見山 (伊藤 2009a), 美生川流域 (伊藤 2008). [足寄町] 幌加美里別川上流 (宮下 1993), 市街地 (伊藤 2009a), 九州大学演習林 (伊藤 2009a), 足寄峠 (伊藤 2009a). [本別町] 本別公園 (2exs., 7-VII-2004 芳賀馨採集). [広尾町] 楽古川河口 (伊藤 1999). [大樹町] ホロカヤントウ沼 (堀 1995). [中札内村] 札内川ダム (国土交通省 2004c). 釧路 [白糠町] 底路川 (北海道 2009). [弟子屈町] 高栄 (水野 2011), 川湯温泉 (中谷ほか 2010a), 和琴半島 (中谷・柏崎 2019). [釧路市] 春採湖北岸 (中谷ほか 2015, 中谷 2016b, 2018), 阿寒町阿寒湖畔ボッケ周辺 (中谷ほか 2009, 中谷・松本 2011). [標茶町] 西別岳 (久万田ほか 1994). [浜中町] 霧多布湿原 (特定非営利活動法人霧多布湿原トラスト 2010). 根室 [羅白町] Rausu (Nakane 1963), 羅白岳 (豊嶋ほか 1991a). [根室市] 九番沢第二支線林道 (伊藤ほか 1999), 温根別川流域 (伊藤ほか 1999), 根室市 (北海道開発局 1999a). [中標津町] 標津川 (北海道 2005a). [標津町]

標津川 (北海道 2005a), 音根沼大橋左岸〜九番沢第二支線林道 (1ex., 28-VII-2013 芳賀馨採集).

有紋の *Orcheesia* 属 4 種の中では圧倒的に本種が多い。筆者に未発表記録を提供いただいたのでこの機会に発表しておきたい。

3. *Orchesia (Clinocara) diversenotata* Pic マルモンニセハナノミ (図 13)

<記録> 石狩 [札幌市] 円山 (伊藤 2002), 手稲区 (日本鉄道建設公団 2001). [江別市] 野幌 (豊嶋ほか 1991a). 後志 [ニセコ町] 羊蹄山麓 (石濱・原 2006). 空知 [三笠市] 唐松 (石濱・原 2006). [美瑛市] 光珠内 (石濱・原 2006). 上川 [上川町] 上川町 (保田 2004), Aizankei (野村 1970). オホ [斜里町] Iwaobetsu (野村 1970). [北見市] 常呂栄浦 (佐々木・松本 2018). 日高 [えりも町] 猿留川林道 (宮下・杉本 1993b, 宮下 1993). 十勝 [上士幌町] 本町 (森島 1994), 上士幌駅跡土場 (芳賀 1993), [音更町] 十勝川温泉付近 (石濱・原 2006). [本別町] 本別公園 (1ex., 7-VII-2004 芳賀馨採集). [大樹町] キモントウ沼付近 (伊藤 2009a). 釧路 [釧路市] 春採湖北岸 (中谷 2018). 根室 [根室市] 九番沢第二

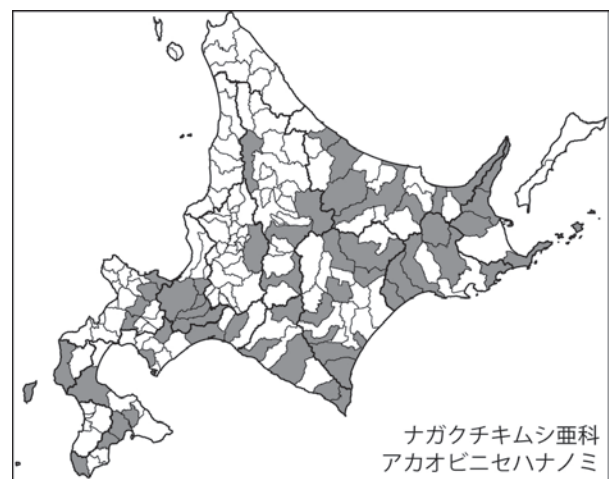


図 12. アカオビニセハナノミの分布



図 13. マルモンニセハナノミの分布

図 16. カバイロニセハナノミの分布

境データベース). 根室 [羅臼町] 羅臼岳 (豊嶋ほか 1991a). [根室市] 九番沢支線林道 (伊藤ほか 1999).

DIRCAEINI モンホソナガクチキ族

1. *Anisoxiella ocularis* Nomura et Kato オオメズカクシナガクチキ (図 17)

<記録> 石狩 [札幌市] 円山 (伊藤 2002). [千歳市] 千歳市 (豊嶋ほか 1991a). 釧路 [弟子屈町] 和琴半島 (中谷・柏崎 2019).

2. *Anisoxya conicicollis* Champion ズカクシナガクチキ (図 18)

<記録> 石狩 [江別市] 野幌森林公園 (宮下 1993). 上川 [旭川市] 奥湯内峠 (水野 2011). オホ [北見市] 常呂栄浦 (佐々木ほか 2015). 胆振 [苫小牧市] 錦岡 (柏崎 2011). 釧路 [釧路市] 春採湖北岸 (中谷 2020).

豊嶋ほか (1991a) は北海道初記録を報じている.

3. *Wanachia trisignata* (Champion) ミツボシケシナガクチキ (図 19)

<記録> 十勝 [本別町] 活込ダム左岸 (伊藤 2002). 釧路 [弟子屈町] 和琴半島 (中谷・柏崎 2019). 根室 [根室市] 温根別川流域 (伊藤 1998c, 伊藤ほか 1999, 水野 2011).

水野 (1992d) では「私信, 標本確認」とされていたが, 伊藤 (1998c) が初記録した. 現在の所, 道東 (十勝・釧路・根室管内) からのみ記録されている. 伊藤 (1998c) はスエヒロタケなどの菌類に依存していることを確認しており, 詳細に調査を行えば広範囲に分布している可能性がある.

4. *Abdera (Caridua) scriptipennis* Lewis カギモンケンシナガクチキ (図 20)

<記録> 渡島 [七飯町] Junsai (Lewis 1895). 上川 [上川町] ホロカイシカリ沢 (伊藤 2002), カルシュナイ (伊藤 2002). 十勝 [新得町] トムラウシ温泉周辺 (平野ほか 2017), 曙橋～奥十勝橋 (平野ほか 2017), トノカリウシュベツ川流域 (平野ほか 2017). [上士幌町] 三股 (伊藤 2002, 水野 2011), 三股十三の沢 (伊藤 2009a). 釧路 [厚岸町] 菖蒲が原 (芳賀 1995). [浜中町] (北海道環境データベース). 根室 [羅臼町] 湯ノ沢 (宮下・館野 1996). [標津町] 伊茶仁丘陵地 (中谷 2016a). [中標津町] 標津川 (北海道 2005a). [標津町] (北海道 2005a).

北海道では, 原記載以来長い間採集記録がなかったが, 近年少しづつ記録が増えてきた. 十勝三股では, 湿地の立ち枯れに生える菌類から採集されている.

5. *Amblyctis nomurai* (Nakane et Hayashi) ヒイロホソナガクチキ (図 21)

= *Dapsiloderus nomurai* (Nakane et Hayashi)

<記録> 石狩 [石狩市] 旧浜益村実田 (小林 2006). 上川 [富良野市] 原始ヶ原登山口 (伊藤 2009a). オホ [遠軽町] 生田



図 17. オオメズカクシナガクチキの分布



図 18. ズカクシナガクチキの分布



図 19. ミツボシケシナガクチキの分布

豊嶋 (1991a) によると「日本全土に分布するが一般に個体数は少ない」種のとされ、北海道では5例が記録されている。

＜記録＞石狩〔札幌市〕砥山（鈴木 1988）、釧舞（豊嶋ほか 1991a）、観音沢（伊藤 1999）、八剣山（伊藤 2002、水野 2011）、真駒内（宮下 1993、伊藤 2002）、円山（伊藤 2002）。〔千歳市〕支笏湖（伊藤 2002）。渡島〔函館市〕沼ノ岱（棟方 1958）。〔八雲町〕旧熊石村（水野 2011）。〔松前町〕朝日（伊藤 2002）、福山（伊藤 2002）。檜山〔せたな町〕旧北桧山町浮島公園（伊藤 2002）。後志〔喜茂別町〕喜茂別町（豊嶋ほか 1991a）。空知〔雨竜町〕雨竜町（北海道開発局 1992）。上川〔上川町〕日東（伊藤 2002）。〔士別市〕旧朝日町（豊嶋ほか 1991a）。宗谷〔猿払村〕エサヌカ海岸（lex., 6-VII-2018 安藤佑介採集）。オホ〔遠軽町〕生田原安国（鈴木 1988）。胆振〔洞爺湖町〕旧虻田町洞爺湖中島（伊藤 2002）。日高〔平取町〕二風谷ダム（国土交通省 2003a）。十勝〔中札内村〕札内川ダム（北海道開発局 1985a）。

現在の所、愛別町安足間が道内唯一の記録である。
本種は全国に広く分布するが採集例が少ないようである。

<記録> 上川 [上川町] 上川町 (保田 2004), Aizankei (Sasaji 1984). [幌加内町] 太釜別 (水野 2011), 太釜別林道 (芦田 1986, 豊嶋ほか 1991a), 母子里 (豊嶋ほか 1991a, 伊藤 2002), 北母子里 (森島 1981, 鈴木 1988, 豊嶋ほか 1991a, 伊藤 2002). オホ [北見市] 留辺蘂町石北峠 (伊藤 2002). [遠軽町] 生田原町安国 (森島 1981), 丸瀬布湯ノ沢 (豊嶋ほか 1991a). [斜里町] 羅臼岳 (水野 2011). 十勝 [上士幌町] 三股 (森島 1981). [陸別町] 小利別 (鈴木 1988, 伊藤 2002). 根室 [羅臼町] 羅臼岳 (水野 2011).

ナガクチキムシ亜科
カギモンケシナガクチキ

ナグチキムシ亜科
ヒロソナガチキ

ナガチキムシ亜科
ムツモンナガチキ

図 22. ムツモンナガクチキの分布

をヤセヨツボシホソナガクチキ *Dircaea quadriguttata* (Paykull) のシノニムとし、和名をヨツボシホソナガクチキとした。本報告もこれに従った。木元 (2001) は山梨県須玉町からの記録を報告している。北海道では上士幌町十勝三股以北で記録されている。

9. *Dircaea erytroides* Lewis フタオビホソナガクチキ
(図 25)

<記録>石狩〔札幌市〕円山(伊藤 2002), 豊平峡谷ダム(国土交通省 2004a). 〔千歳市〕千歳市(芦田 1986, 水野 2011). 渡島〔八雲町〕八雲町(日本鉄道建設公団 2001). 檜山〔奥尻町〕奥尻島(水野 2011). 〔今金町〕美利河ダム(国土交通省 2002). 後志〔小樽市〕奥沢水源地地区(山本 2006b). 〔黒松内町〕黒松内町(日本鉄道建設公団 2001). 空知〔美唄市〕光珠内(石濱・原 2006). 〔芦別市〕滝里ダム(国土交通省 2005a). 上川〔士別市〕岩尾内ダム(国土交通省 1994b, 1997c). 〔下川町〕サンルダム(北海道開発局 1994b). 留萌〔留萌市〕留萌ダム(北海道開発局 1989). オホ〔北見市〕ポンキキン(豊嶋ほか 1991a), 常呂栄浦(佐々木・松本 2018). 〔興部町〕豊畑(石濱・原 2006). 〔湧別町〕湧別町(国土交通省 2009). 胆振〔苫小牧市〕北大演習林(鈴木 1988). 十勝〔上士幌町〕黒石平(宮下 1993, 伊藤 2009a). 〔新得町〕新得神社山(菅原 1996), 新得山(伊藤 2002). 釧路〔弟子屈町〕和琴半島(中谷・柏崎 2019).

上土幌町黒石平の個体(宮下 1993, 伊藤 2009a)は、灯火に飛来した個体である。全道に広く分布するが個体数は多くない。

10. *Paradircaea dentatamaculata* (Lewis) ハガタホソナ
ガクチキ (図 26・図 6F)

<記録>石狩〔札幌市〕札幌（松村 1931）、円山（鈴木 1988）、藻岩山（水野 2011）、八剣山（水野 2011）。空知〔美瑛市〕光珠内（石濱・原 2006）。〔芦別市〕野花南（伊藤 2002）。〔北竜町〕竜西（伊藤 1999）。上川〔旭川市〕石狩川上流（国土交通省 2004d）。〔上川町〕上川町（保田 2004）、愛山溪（豊嶋ほか 1991a、水野 2011）、日東（伊藤 2002、2009a）。〔幌加内町〕北母子里（伊藤 2002）。留萌〔留萌市〕峠下豊平（宮下 1993）。オホ〔湧別町〕湧別町（国土交通省 2005b）。〔斜里町〕羅臼岳（豊嶋ほか 1991a）。十勝〔上士幌町〕幌加（豊嶋ほか 1991a）。〔芽室町〕美生川流域（伊藤 2008）。〔中札内村〕札内川ダム（国土交通省 2004c）。根室〔羅臼町〕羅臼岳（豊嶋ほか 1991a）。

11. *Phloiотrya flavitarsis* (Lewis) キオビホソナガクチキ
(図 27)

<記録>石狩〔札幌市〕札幌市（水野 2011），札幌（豊嶋ほか 1991a），円山（中根・林 1955，鈴木 1988，豊嶋ほか

1991a, 伊藤 2002), 砥山 (鈴木 1988, 伊藤 1999), 豊平
峽 (鈴木 1988, 国土交通省 2004a), 観音沢 (宮下 1993),
簾舞 (水野 2011), 定山溪 (豊嶋ほか 1991a, 伊藤 2002,
水野 2011), 藻岩山 (豊嶋ほか 1991a, 伊藤 2002). [江別
市] 野幌森林公園 (坂本ほか 1976). [千歳市] 泉沢 (千歳
市・千歳市土地開発公社 1986). [恵庭市] 漁川 (国土交通省



図 23. ヒゲブトナガクチキの分布



図 24. ヨツボシホソナガクチキの分布

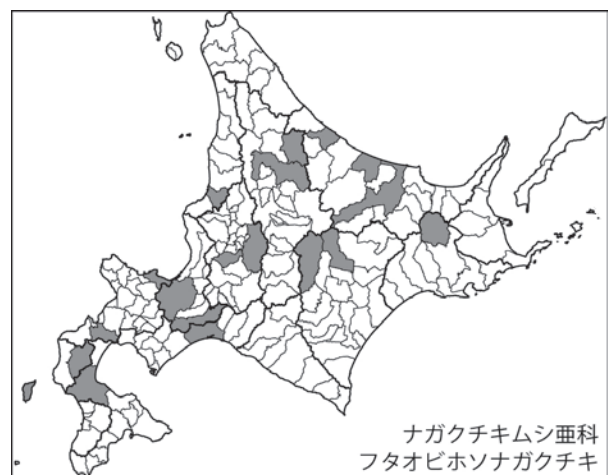


図 25. フタオビホソナガクチキの分布

1996). 渡島〔函館市〕赤沼(棟方 1958), 赤川林道赤沼(金沢 1965). [北斗市] 旧上磯町(伊藤 2002). [松前町] 朝日(伊藤 2002). [八雲町] 八雲町(日本鉄道建設公団 2001), 上ノ湯(棟方 1958). 檜山〔上ノ国町〕上ノ国町(棟方 1958). 後志〔小樽市〕小樽(平山 1940), 奥沢水源地地区白井沢(大原 1997). [黒松内町] 東栄(伊藤 2002). [倶知安町] 高嶺(佐々木 2003). [島牧村] 千走林道(宮下 1993). [京極町] 京極町(北海道電力株式会社 1999, 2010). [仁木町] 仁木町(日本鉄道建設公団 2001). 空知〔岩見沢市〕岩見沢市(二口 1992). [三笠市] 唐松(石濱・原 2006). [芦別市] 滝里(伊藤 2002). [北竜町] 竜西(伊藤 1999). [長沼町] 長沼町(国土交通省・北海道開発局 2009). 上川〔旭川市〕台場(佐藤 1991), 東旭川町瑞穂(鈴木 1988), 米飯(佐藤 1988, 1991). [上川町] 上川町(保田 2004), 日東(伊藤 2002), 真水沢(国土交通省 2003d, 株式会社エコニクス 2011), リクマンベツ川(株式会社開発工営社 2004), 層雲峡(保田 1979, 1981, 豊嶋ほか 1991a). [愛別町] 安足間(豊嶋ほか 1991a). [東川町] 江卸(鈴木 1988, 伊藤 2002). [士別市] 旧朝日町ペンケ(豊嶋ほか 1991a), 旧朝日町岩尾内(伊藤 2002), 旧朝日町林内(伊藤 2002), 岩尾別ダム(国土交通省 2003b). [占冠村] 双珠別(伊藤 2002) [幌加内町] 太釜別林道(豊嶋ほか 1991a). [南富良野町] 金山ダム(国土交通省 1993). 留萌〔苫前町〕霧立(鈴木 1988, 荒木ほか 1988, 伊藤 2002). オホ〔置戸町〕常元(伊藤 2009a). [清里町] 斜里岳清岳荘周辺(中谷ほか 2007). [斜里町] 羅白岳(豊嶋ほか 1991a, 水野 2011). 十勝〔新得町〕十勝ダム(国土交通省 2003c, 2004b), 十勝川源流部(西島・小野 1982), トムラウシ温泉周辺(平野ほか 2017). [鹿追町] 然別峡(伊藤 2002). [上士幌町] 三股(伊藤 2002). [帯広市] 大正(伊藤 2002). [芽室町] 美生川流域(伊藤 2008). [中札内村] 中札内村(北海道 1982, 豊嶋ほか 1991a), 札内川ダム(北海道開発局 1985a), 上札内(伊藤 2009a). [広尾町] 山フンベ(伊藤 2009a). 釧路〔弟子屈町〕和琴半島(中谷・柏崎 2019). 根室〔羅臼町〕Rausu(Nakane 1963), 羅臼岳(豊嶋ほか 1991a, 水野 2011). [根室市] 根室(水野 2011). 全道的に広く分布する。

12. *Phloiotrya trisignata* Nomura コモンホソナガクチキ (図 28)

<記録> 石狩〔札幌市〕Sapporo (Nomura 1958), 札幌(豊嶋ほか 1991a), 円山(鈴木 1988, 豊嶋ほか 1991a, 宮下 1993, 伊藤 1999, 2002). [江別市] 野幌森林公園(坂本ほか 1976). 檜山〔奥尻町〕奥尻島(水野 2011). [上ノ国町] 石崎(伊藤 2002). 上川〔旭川市〕Kamuikotan (Nomura 1958), 神居古潭(豊嶋ほか 1991a).

13. *Phloiotrya belicosa* (Lewis) オオクロホソナガクチキ (図 29)

<記録> 石狩〔札幌市〕Sapporo (Lewis 1895, Nomura and

Kato 1959), 札幌(豊嶋ほか 1991a), 札幌植物園(豊嶋ほか 1991a), 円山(鈴木 1988, 豊嶋ほか 1991a, 木野田 1988, 宮下 1993, 伊藤 2002), 定山溪(水野 2011). [江別市] 野幌森林公園(坂本ほか 1976, 堀 2005). [千歳市] モーラップ(鈴木 1988), 支笏湖畔(鈴木 1988). 渡島〔函館市〕赤沼(棟方 1958), 神山(棟方 1958). [七飯町] Junsai (Lewis

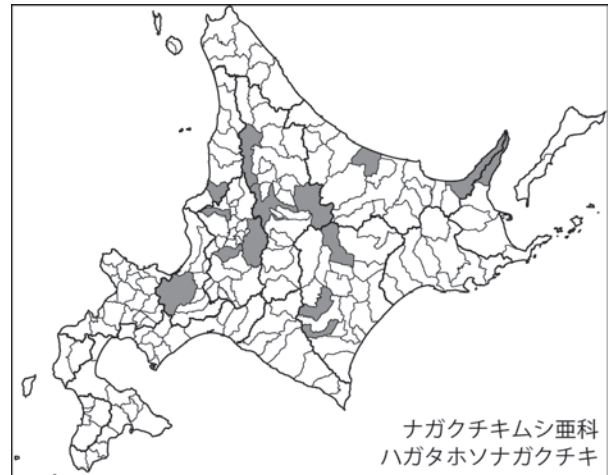


図 26. ハガタホソナガクチキの分布

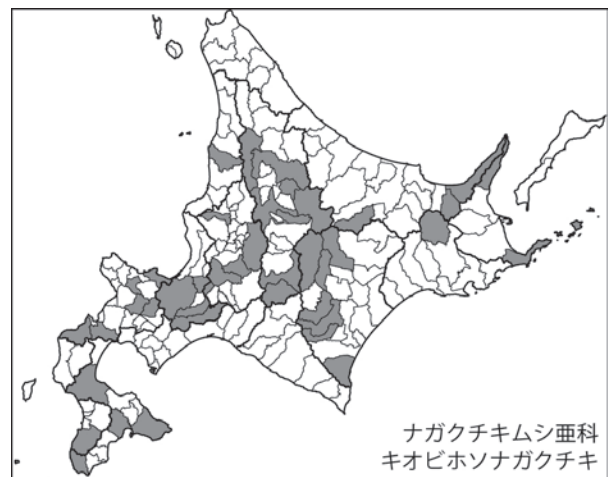


図 27. キオビホソナガクチキの分布



図 28. コモンホソナガクチキの分布

1895). [福島町] 大千軒岳 (豊嶋ほか 1991a). 檜山 [奥尻町] 奥尻島 (水野 2011). [上ノ国町] 石崎 (伊藤 2002). 後志 [小樽市] 桂岡地区 (山本 2006a). [ニセコ町] 羊蹄山麓 (石濱・原 2006). [喜茂別町] 中山峠 (水野 2011). 空知 [夕張市] 夕張岳ヒュッテ付近 (野田・佐々木 1977). 上川 [上川町] 上川町 (保田 2004), 層雲峡 (水野 2011), 日東 (伊藤 2009a), リクマンベツ川 (株式会社開発工営社 2004). [東川町] 愛山溪 (鈴木 1988). [旭川市] 嵐山 (豊嶋ほか 1991a), 旭神町 (鈴木 1988), 江丹別 (佐藤 1991), 米飯 (佐藤 1988, 1991). [幌加内町] 太釜別林道 (豊嶋ほか 1991a, 宮下 1993, 水野 2011), 北母子里 (鈴木 1988, 豊嶋ほか 1991a, 水野 2011), 母子里 (豊嶋ほか 1991a, 伊藤 2002), 朱鞠内 (鈴木 1988, 豊嶋ほか 1991a). [南富良野町] 三の山峠 (伊藤 2002). 留萌 [留萌市] 幌糠 (水野 2011). [苫前町] 苫前町 (荒木ほか 1988), 霧立 (荒木ほか 1998), 古丹別 (鈴木 1988, 伊藤 2002). [羽幌町] 上羽幌 (伊藤 1999). 宗谷 [猿払村] エサヌカ海岸 (1ex., 6-VII-2018 安藤佑介採集). [中頓別町] ポロヌプリ山塊中ノ川林道 (芳賀 1989). オホ [紋別市] 大山中腹 (石濱・原 2006). [清里町] 裏摩周展望台付近 (中谷ほか, 2010b). [斜里町] 斜里岳 (水野 2011). [大空町] 旧女満別町 (鈴木 1988). [網走市] Abashiri (Nomura and Kato 1959), 網走 (豊嶋ほか 1991a). [佐呂間町] サロマ湖 (豊嶋ほか 1991a). [北見市] 常呂栄浦 (佐々木ほか 2015). 日高 [新ひだか町] 旧静内町 (北海道 1983). 十勝 [鹿追町] 山田温泉 (豊嶋ほか 1991a), 然別峰越林道 (宮下 1993). [上士幌町] 東 13 線北端次 (芳賀ほか 2010), 糠平 (芳賀ほか 2010), 幌加温泉 (伊藤 2009a), 幌加 (水野 2011), 勝北峠 (伊藤 1999), 三股 (鈴木 1988), 三股十四の沢 (宮下 1996). [帯広市] 十勝川右岸 (北海道 2011b). [音更町] 十勝川温泉付近 (石濱・原 2006). [芽室町] 御影 (宮下 1993), 美生川流域 (伊藤 2008). [陸別町] 小利別クネベツ連絡林道 (伊藤 2002). 釧路 [釧路市] 春採湖北岸 (中谷 2018). [白糠町] 庶路ダム (北海道 1991). [弟子屈町] 和琴半島 (中谷・柏崎 2019). 根室 [羅臼町] 羅臼岳 (豊嶋ほか 1991a). [根室市] 九番沢第二支線林道 (伊藤ほか 1999), 落石駅北東約 1km (2exs., 28-V11-2013 芳賀馨採集).

水野 (1992) は黒澤ほか (1985) で *Phloiotrya planiuscula* Nomura et Kato ヒラタホソナガクチキとして示されている種を *Phloiotrya belicosa* (Lewis) オオクロホソナガクチキの特異個体でシノニムとした. 筆者のうち伊藤は, 河川敷の広葉樹倒木から多数羽脱したのを確認している. 本種は広く全道に分布し個体数も多い.

14. *Phloiotrya rugicollis* Marseul クロホソナガクチキ (図 30)

<記録> 石狩 [札幌市] Sapporo (Lewis 1895), 札幌 (豊嶋ほか 1991a), 定山溪 (水野 2011), 北の沢 (伊藤 1999), 円山 (豊嶋ほか 1991a, 伊藤 2002), 西岡水源地 (雛倉 1989). [江

別市] 野幌森林公園 (坂本ほか 1976). [石狩市] 旧石狩町八幡町 (伊藤 2002), 旧厚田村知津狩 (伊藤 2002), 石狩湾 (小林 2004). [千歳市] 支笏湖畔 (鈴木 1988), 石狩川下流 (国土交通省 1994d). 渡島 [七飯町] 大沼公園 (鈴木 1988). Junsai (Lewis 1895). 檜山 [せたな町] 旧北檜山町愛知 (伊藤 2002). [今金町] 美利河ダム (国土交通省 2002). 後志 [ニセコ町] 羊蹄山麓 (石濱・原 2006). [小樽市] 小樽市 (北海道 (事業予定者北海道開発局) 1999), 桂岡地区 (山本 2006a). [余市町] 畚部川 (北海道 2005b). 空知 [美瑛市] 光珠内 (石濱・原 2006). [三笠市] 桂沢ダム (国土交通省 2005c). [南幌町] 石狩川下流 (国土交通省 1994d). 上川 [下川町] サナルダム (北海道開発局 1994b). [幌加内町] 北母子里 (鈴木 1988), 朱鞠内 (鈴木 1988, 豊嶋ほか 1991a), 太釜別林道 (豊嶋ほか 1991a). オホ [遠軽町] 丸瀬布湯ノ沢 (豊嶋ほか 1991a), 生田原 (豊嶋ほか 1991a, 宮下 1993). [斜里町] 羅臼岳 (豊嶋ほか 1991a). 日高 [えりも町] 猿留川林道 (宮下・杉本 1994). 十勝 [新得町] トムラウシ温泉周辺 (平野ほか 2017), 新得神社山 (菅原 1996). [上士幌町] 糠平～温泉山 (日本林業技術協会 1987). [音更町] 十勝川温泉付近 (石濱・原 2006). [本別町] 美里別東下 (伊藤 2002). [足寄町] 上足寄 (伊藤 1998a). 釧路 [弟子屈町] 和琴半島 (中谷・

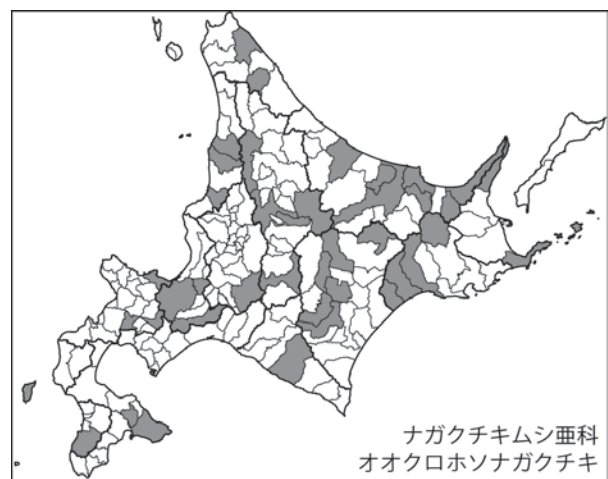


図 29. オオクロホソナガクチキの分布

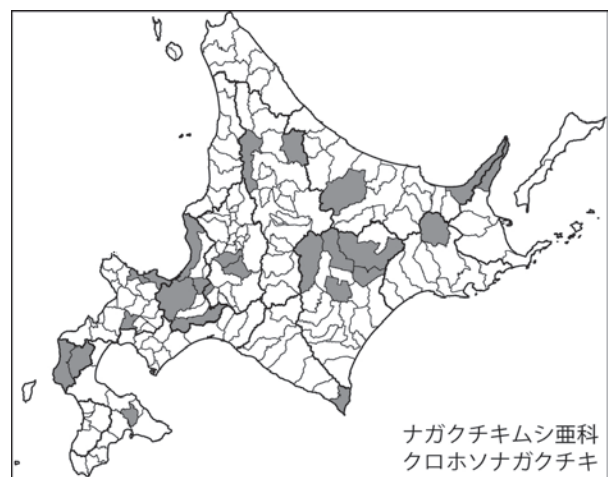


図 30. クロホソナガクチキの分布

柏崎 2019). 根室 [羅臼町] 羅臼岳 (豊嶋ほか 1991a).

15. *Phloiodytes obscura* (Lewis) ビロウドホソナグチキ (図 31・図 6G)

<記録> 石狩 [札幌市] 札幌 (豊嶋ほか 1991a), 札幌市 (水野 2011), 砥山 (鈴木 1988, 1991), 円山 (豊嶋ほか 1991a, 宮下 1993, 伊藤 1999, 2002), 藻岩山 (伊藤 1999), 真駒内 (伊藤 1999), 上野幌 (大桃 1989). [石狩市] 旧厚田村知津狩 (伊藤 2002). [北広島市] 旧広島町野幌 (鈴木 1991). [千歳市] 支笏湖畔 (鈴木 1991). 渡島 [函館市] 旧尻岸内町 (田口 1981). 檜山 [奥尻町] 奥尻島 (水野 2011). 空知 [三笠市] 唐松 (石濱・原 2006). [美瑛市] 光珠内 (石濱・原 2006). 上川 [幌加内町] 朱鞠内 (豊嶋ほか 1991a), 母子里 (豊嶋ほか 1991a, 伊藤 2002). [上川町] 赤石川 (株式会社ドーコン 2008), 上川町 (保田 2009). [士別市] 岩尾内ダム (北海道 1994b). 留萌 [羽幌町] 天売島 (柏崎 2006). 宗谷 [中頓別町] 中頓別 (芳賀 1989). オホ [遠軽町] 生田原 (豊嶋ほか 1991a, 水野 2011). [北見市] 常呂栄浦 (佐々木ほか 2015). [斜里町] 羅臼岳 (豊嶋ほか 1991a). 胆振 [厚真町] 厚真町 (北海道環境データベース). 日高 [日高町] 本町 (伊藤 2002). [えりも町] 猿留川林道 (宮下・杉本 1994). 十勝 [上士幌町] 三股 (鈴木 1988). [音更町] 十勝川温泉付近 (石濱・原 2006). [本別町] 美里別東下 (伊藤 2002). 釧路 [弟子屈町] 和琴半島 (中谷・柏崎 2019). 根室 [羅臼町] 羅臼岳 (豊嶋ほか 1991a).

鈴木 (1988) は北海道初記録を報じている.

16. *Phloiodytes parvula* (Lewis) ニセビロウドホソナグチキ (図 32)

<記録> 石狩 [札幌市] 円山 (豊嶋ほか 1991b). 渡島 [七飯町] Junsai (Lewis 1895). 後志 [小樽市] Otaru (Lewis 1895).

水野 (1997) は「この種は稀種で完模式標本と正確な照合をしたわけでないが, この学名が適合すると思われる」としている.

SERROPALPINI ホソナグチキ族

1. *Phloeotrinius femotalis* (Lewis) モモキホソナグチキ (図 33・図 6H)

<記録> 石狩 [札幌市] 砥山 (鈴木 1988, 1991), 簾舞 (水野 2011), 八剣山 (水野 2011), 円山 (伊藤 1999, 2002). [北広島市] 三島 (伊藤 1999), 旧広島町野幌 (鈴木 1991). 檜山 [厚沢部町] 土橋自然公園 (伊藤 2002). 後志 [倶知安町] 羊蹄山 (鈴木 1988). オホ [美幌町] 日並地区 (畔原 2003a). 十勝 [鹿追町] 鹿追町 (北海道環境データベース). その他 [北海道] (豊嶋ほか 1991a).

石狩・空知管内に未発表の採集例が数例あるようだ. 筆者のうち伊藤は芳賀ほか (2010) で報告された個体

を疑問に思い, 同個体がひがし大雪自然館に保管されているので, 2019 年 4 月 19 日に確認のため同館を訪れ, 検鏡の結果, 小型の *Serropalpus marseuli* Nikitsky ヒメホソナグチキの誤同定だったのでここでは記録として取り上げない. また山之内 (1975) については,



図 31. ビロウドホソナグチキの分布



図 32. ニセビロウドホソナグチキの分布



図 33. モモキホソナグチキの分布

採集記録が不十分である上、採集標本がひがし大雪自然館に保管されていなかったの確認できなかった。このためここでは取り挙げない。尚、同書に記録されている他の種も同様に扱った。

2. *Phloeotrinus filiformis* (Marsel) カタクボホソナガク
チキ (図 34)

= *Phloeotrya parvula*; (nec Lewis, 1985)

<記録>石狩〔札幌市〕円山（水野 2011 as *Phloeotrya* sp.（豊島ほか 1991））.

水野（1992d）では「記録あり，標本確認」となっているが，採集記録は豊嶋ほか（1991b）に *Phloeotrya* sp. として 1 例示されているに過ぎないが，他にも未発表の採集例はあるようである．水野（1997）は黒澤ほか（1985）では，*Phloeotrya paruula* Lewis チビホソナガクチキの名で図示されているが学名も和名も不適切のため改称した」としている．

3. *Enchodes crepusculus* (Lewis) コメツキガタナガク
チキ (図 35)

＜記録＞石狩〔札幌市〕Sapporo (Lewis 1985), 豊平峡谷ダム (国土交通省 1999b), 定山溪 (水野 2011). [江別市] 野幌森林公園 (伊藤 2009a). [千歳市] 島棚舞 (伊藤 2002), 支笏湖 (伊藤 2002). 渡島〔七飯町〕Junsai (Lewis 1985). 檜山〔上ノ国町〕早川 (伊藤 2002). 後志〔小樽市〕小樽市 (鈴木 1988), 奥沢水源地地区 (山本 2006b). 空知〔三笠市〕唐松 (石濱・原 2006). [芦別市] 滝里 (国土交通省 2005a). [浦臼町] 浦白山 (伊藤 2002). 上川〔上川町〕層雲峡 (豊嶋ほか 1991b), 日東 (伊藤 2002), 陸満リクマンベツ川林道終点 (lex., 28-VI-2003 芳賀馨採集). [東川町] 餌卸 (伊藤 2002). [幌加内町] 朱鞠内 (豊嶋ほか 1991b), 母子里 (伊藤 2002). [下川町] サンルダム (北海道開発局 1994b). [その他] 大雪山 (豊嶋ほか 1991b). 留萌〔留萌市〕幌糠 (伊藤 2002). 宗谷〔利尻富士町〕利尻島 (酒井 1967). [中頓別町] 中頓別 (芳賀 1989). オホ〔美幌町〕美幌川上流 (畔原 2000, 畔原 2003b). [遠軽町] 生田原 (豊嶋ほか 1991b), 生田原安国 (鈴木 1988). [斜里町] ルシャ (鈴木 1988). [紋別市] 大山中腹 (石濱・原 2006). [北見市] 常呂采溜 (佐々木ほか 2015). 胆振〔伊達市〕シャミチセ川 (北海道 2011c). 日高〔新ひだか町〕旧静内町メナシベツ川上流 (堀 1995). 十勝〔新得町〕十勝川源流部 (西島・小野 1982). [上士幌町] 黒石平 (伊藤 2002, 芳賀ほか 2006), 幌加 (鈴木 1988, 豊嶋ほか 1991b, 水野 2011). [音更町] 十勝川温泉付近 (石濱・原 2006). [足寄町] 上足寄 (伊藤 1993). 釧路〔弟子屈町〕和琴半島 (中谷・柏崎 2019).

4. *Serropalpus niponicus* Lewis キイロホソナガクチキ

(図 36)

> 記録> 石狩 [札幌市] Sapporo (Kono 1930), 簾舞 (豊嶋
 ほか 1991b), 錦橋 (豊嶋ほか 1991b), 定山溪 (Kono 1930,
 伊藤 2002, 水野 2011). [千歳市] 鶺鴒舞 (鈴木 1988), 支
 笏湖 (豊嶋ほか 1991b). 後志 [倶知安町] 倶知安町 (佐々木
 1999). 上川 [上川町] 上川町 (保田 2004), 愛山溪 (豊嶋
 ほか 1991b), リクマンベツ川 (株式会社開発工営社 2004),
 層雲峡 (河野 1936), 大雪湖 (保田 1996). [旭川市] 米飯 (佐
 藤 1988, 1991). [美瑛町] 白金 (美瑛町 1988). [南富良野町]
 かなやま湖 (北海道環境科学研究センター 1995). [幌加内町]
 朱鞠内 (豊嶋ほか 1991b), 北母子里 (豊嶋ほか 1991b). 留
 萌 [小平町] 達布 (豊嶋ほか 1991b). [苫前町] 霧立 (鈴木
 1988, 伊藤 2002). [天塩町] 天塩町 (Kono 1930). オホ [遠
 軽町] 生田原 (鈴木 1988, 豊嶋ほか 1991b, 水野 2011), 丸
 瀬布上武利 (伊藤 1999), 丸瀬布南丸 (伊藤 2009a). [斜里町]
 ルシャ (豊嶋ほか 1991b, 伊藤 2002). [北見市] 常呂米浦 (佐々
 木ほか 2015). 十勝 [新得町] 十勝ダム (西島・小野 1980).
 [鹿追町] 然別 (水野 2011). [上士幌町] 糠平 (芳賀ほか
 2010), 幌加 (鈴木 1988, 豊嶋ほか 1991b, 水野 2011), 三
 股 (豊嶋ほか 1991b), シンノスケ三の沢 (伊藤 2009a), 岩
 間温泉 (宮下 1996), 三股十三の沢 (宮下 1993), 三股十六



図 34. カタクボホソナガクチキの分布



図 35. コメツキガタナガクチキの分布

の沢(宮下 1993) 三股十八の沢(宮下 1996), 勝北峠(伊藤 2009a). 釧路[釧路市] 阿寒湖(水野 2011). [白糠町] 庶路川(北海道 2009).

本種も *Serropalpus barbatus* (Schaller) のシノニムとされているようであるが, ここでは水野(2011)に従う.

5. *Serropalpus marseuli* Nikitsky ヒメホソナガクチキ(図 37)

= *Serropalpus filiformis*; (nec Marseul, 1876)

<記録> 石狩[札幌市] 無意根小屋(鈴木 1988), 八垂別壺の滝(鈴木 1988), 小樽内(鈴木 1988) 元山(豊嶋ほか 1991b), 簾舞(豊嶋ほか 1991b), 定山溪(豊嶋ほか 1991b, 伊藤 2002, 水野 2011). [千歳市] 支笏湖(鈴木 1988). [北広島市] 旧広島町野幌(鈴木 1991). 渡島[八雲町] 日大演習林(水野 2011). [七飯町] 大沼公園(水野 2011). 後志[小樽市] 桂岡地区(山本 2003 as *S. filiformis*). [倶知安町] 比羅夫(佐々木 2003). [島牧村] 大平山(西島ほか 1987). 空知[三笠市] 唐松(石濱・原 2006). [美瑛市] 光珠内(石濱・原 2006). [上砂川町] 宮城の沢(伊藤 2002). 上川[幌加内町] 朱鞠内(豊嶋ほか 1991b), 北母子里(水野 2011), 太釜別林道(豊嶋ほか 1991b, 水野 2011). [上川町] 上川町(保田 2004), 赤石川(株式会社ドーコン 2008), ユニ石狩川(豊嶋ほか 1991b), 三国峠(伊藤 2002), 雲ノ平(保田 1978, 1985a). [東川町] 忠別ダム(北海道開発局 2009), 江卸(伊藤 2002), 幌倉(伊藤 2002), 幌倉沼(鈴木 1988). [美瑛町] 忠別(伊藤 2002). [士別市] 旧朝日町(鈴木 1988), 奥士別(鈴木 1988), 白山(伊藤 1999), 旧旭町ペンケ(豊嶋ほか 1991b). 留萌[留萌市] 幌糠(宮下 1993). 宗谷[利尻島] 利尻島(豊嶋ほか 1991b). [中頓別町] 小頓別駅付近(芳賀 1989). オホ[興部町] 豊畑(石濱・原 2006). [北見市] 留辺藪町滝湯(豊嶋ほか 1991a), 常呂栄浦(佐々木ほか 2015). [遠軽町] 生田原(豊嶋ほか 1991b, 宮下 1993, 伊藤 2002). [清里町] 斜里岳清岳荘周辺(中谷ほか 2007). [斜里町] ラウス岳(鈴木 1988). 胆振[むかわ町] 旧穂別穂別(鈴木 1988). [洞爺湖町] 旧虻田町洞爺湖中島(伊藤 2002). 日高[日高町] 蔦別岳千呂川流域(豊嶋ほか 1991b). 十勝[新得町] 十勝ヌブントムラウシ(水野 2011). [鹿追町] 山田温泉(豊嶋ほか 1991b), 然別(水野 2011), 然別川本流林道(1ex., 28-VII-1996 伊藤勝彦採集). [上士幌町] 上士幌駅跡土場(芳賀 1993), 黒石平(伊藤 2002, 芳賀ほか 2006), 糠平(Sasaji 1974, 芳賀ほか 2010), 糠平湖右岸五の沢(芳賀ほか 2010), 幌加(鈴木 1988, 豊嶋ほか 1991b, 水野 2011), 幌加温泉(豊嶋ほか 1991b), 幌加音更六の沢(芳賀ほか 2010), 三股(鈴木 1988, 豊嶋ほか 1991b, 宮下 1996, 伊藤 1999, 2002, 水野 2011), 岩間温泉(宮下 1996), シンノスケ迂回線一の沢(宮下 1996), シンノスケ三の沢(宮下 1993, 伊藤 2009a), 三股シンノスケ五の沢(芳賀ほか 2010), 三股十三の沢(宮下 1993), 三股十四の沢(宮下 1996, 伊藤 2009a), 三股十六の沢(宮下 1993), ニペソ

ツ山(豊嶋ほか 1991b), 置戸林道(1ex., 24-VII-1994 伊藤勝彦採集). [音更町] 十勝川温泉付近(石濱・原 2006). [足寄町] 上足寄(伊藤 1998a), 足寄(Sasaji 1974), 東キトウシ林道(宮下 1993). 釧路[釧路市] 阿寒町阿寒(豊嶋ほか 1991b). [弟子屈町] 川湯温泉(中谷ほか 2010a), 和琴半島(中谷・柏崎 2019). 根室[羅臼町] ラウス岳(鈴木 1988).

水野(1997)は「佐々治(1985)では, *Serropalpus filiformis* の学名で掲載されているが, 大英博物館の Lewis の採集標本(完模式標本か否かは不明)を見るとこれは誤同定である」と述べて未記載種としていたが, 水野(2011)では上記学名を使用しているためこれに従っておく. 筆者のうち伊藤は一度だけ十勝三股の林道脇の土場跡でフラックライトを持ちいたライトトラップで本種を採集したことがあり, 灯火にも飛来することがわかった. 前種より個体数は多く比較的得やすい種の一つであるが, アカエゾマツの衰弱木で一度に7頭採集したことがあるが, これが最多である. 全道に広く記録されているが, 大雪山周辺の記録が多い.

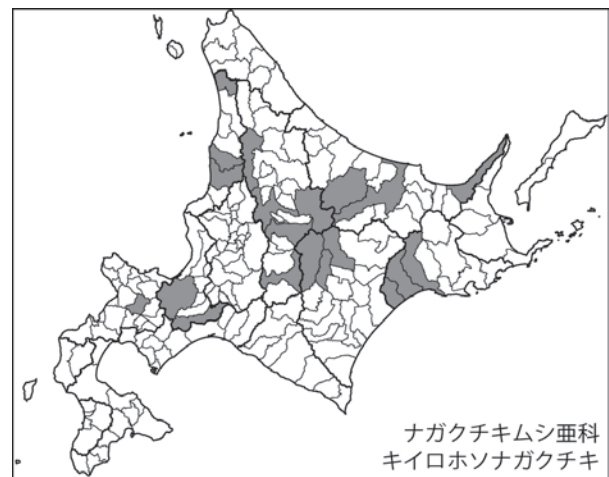


図 36. キイロホソナガクチキの分布

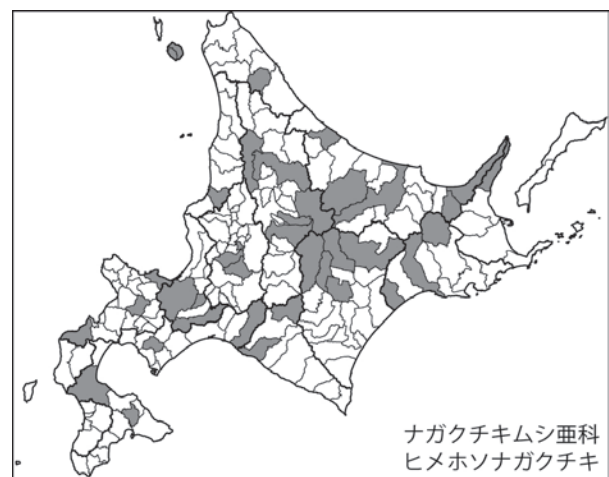


図 37. ヒメホソナガクチキの分布

6. Gen. (*?Mimoserropalpus*) sp. ヒゲブトキイロホソナガクチキ (仮称) [未記載種] (図 38)

<記録> 空知 [岩見沢市] 利根別 (水野 2011 (豊嶋ほか 1991 as *Serropalpus?* sp.)).

水野 (1992d) は北海道と本州に *Enchodes orientalis* Nikitsky が分布するとした。水野 (1994a) では表記種名として一旦整理されていたが、水野 (1998) はシベリア産 *Enchodes orientalis* Nikitsky の個体と比較し、日本産とは別種であるとし、日本産ヒゲブトキイロホソナガクチキは所属不明の未記載種に戻るようになった。豊嶋ほか (1991b) による岩見沢市利根別産の *Serropalpus?* sp. は、水野 (2011) によりヒゲブトキイロホソナガクチキ (仮称) に移されたが、札幌市円山産の *Serropalpus?* sp. (豊嶋ほか 1991b) については不明である。

Tribe Uncertain 族不明確ナガクチキ類

1. *Symphora atra* Nomura ヒメナガクチキ (図 39)

<記録> 十勝 [足寄町] 喜登牛山喜登牛川公の沢 (伊藤 2002)。[広尾町] 楽古岳 (1ex., 3-VII-2003 芳賀馨採集)。

非公開の環境アセスメント調査では記録があるようであるが、伊藤 (2002) が北海道初記録した。

2. *Symphora miyakei* Nomura et Hayashi ミヤケヒメナガクチキ (図 40)

<記録> 石狩 [札幌市] 薄別 (鈴木 1988)、藻岩山 (豊嶋ほか 1991b)、円山 (宮下 1993、伊藤 2002)、砥山 (鈴木 1991)。[千歳市] 支笏湖 (Nomura and Kato 1959、鈴木 1988)。空知 [美瑛市] 光珠内 (石濱・原 2006)。上川 [下川町] サンルダム (北海道開発局 1994b)。オホ [興部町] 豊畑 (石濱・原 2006)。日高 [えりも町] 猿留川林道 (宮下・杉本 1994)。釧路 [弟子屈町] 和琴半島 (中谷・柏崎 2019)。[浜中町] 霧多布湿原 (特定非営利活動法人霧多布湿原トラスト 2010)。鈴木 (1988) は北海道初記録を報じている。

ZILORINI カタビロナガクチキ族

1. *Euryzilora lividipennis* Lewis ムナクボナガクチキ (図 41)

<記録> 後志 [喜茂別町] 川上中山峠 (水野 2011)。[小樽市] 桂岡地区 (山本 2003)。上川 [旭川市] 石狩川上流 (国土交通省 2000a)。[幌加内町] 朱鞠内 (鈴木 1988)、太釜別林道 (入江・坂本 1977、豊嶋ほか 1991b)。[上川町] 上川町 (鈴木 1988)。オホ [置戸町] 鹿ノ子ダム (国土交通省 2004e)。十勝 [新得町] トムラウシ温泉 (伊藤 2002)、ヌプントムラ

ウシ温泉 (宮下 1994a)。[上士幌町] 幌加温泉 (豊嶋ほか 1991b)、ニペソツ山 (入江・坂本 1977、豊嶋ほか 1991b)、Nukabira (Sasaji 1974)。

本種も採集記録が少ない種である。

XYLITINI ツツヒラタナガクチキ族



図 38. ヒゲブトキイロホソナガクチキの分布



図 39. ヒメナガクチキの分布



図 40. ミヤケヒメナガクチキの分布

1. *Dolotarsus lividus* (Sahlberg) ツツホソナガクチキ (図 42)

= *Xylita livida* (Sahlberg)

<記録> 上川 [上川町] 上川町 (保田 2004). [東川町] 旭岳温泉 (伊藤 2002), 勇駒別 (鈴木 1988). [下川町] サンプルダム (北海道開発局 1994b). 宗谷 [豊富町] 豊富町 (北海道開発局 1998). オホ [北見市] 北見市 (伊藤 2009a). [置戸町] 鹿の子 (伊藤 2002). 日高 [日高町] 沙流川源流部 (芳賀 2001, 伊藤 2002, 水野 2011). 十勝 [新得町] 新得神社山 (菅原 1996). [鹿追町] 然別湖千畳崩 (宮下 1993). [上士幌町] 幌加温泉 (宮下 1996, 伊藤 2009a), 三股 (森島 1984, 芦田 1986, 鈴木 1988, 豊嶋ほか 1991a, 伊藤 2002, 水野 2011), シンノスケ五の沢 (芳賀ほか 2010), シンノスケ三の沢 (宮下 1993, 伊藤 2009a), 三股十三の沢 (宮下 1993), 三股十四の沢 (宮下 1996), 三股十六の沢 (宮下 1993), 三股十八の沢 (宮下 1996). 釧路 [釧路市] 阿寒町阿寒湖畔ボツケ周辺 (中谷ほか 2009).

エゾマツ・トドマツ等針葉樹の衰弱木や立ち枯れ木, 材上で得られることが多く, 筆者のうち伊藤が採集した3頭は, いずれも立ち枯れたアカエゾマツの樹幹から得られている. 大雪山周辺に記録が多いのはアカエゾマツの大径木が他地域より多く残っていたからではないだろうか. 本州では, 福島県, 群馬県, 山梨県, 栃木県, 長野県の高地から記録されている (森島 1984, 水野 1992d, 2011). 水野 (2011) では上記学名を使用しているので, 本報告もこれに従った.

MELANDRYINI ナガクチキ族

1. *Phryganophilus ruficollis* (Fabricius) ムネアカナガクチキ (図 43)

<記録> 石狩 [札幌市] 八剣山 (水野 2011). [江別市] 野幌森林公園 (堀 1998). 上川 [上川町] 三国峠 (伊藤 2002). 日高 [平取町] 幌尻岳 (豊嶋ほか 1991b). [浦河町] 上向別 (柏崎 2003). 十勝 [上士幌町] 三股 (豊嶋ほか 1991b, 伊藤 2002), 三股十四の沢 (宮下 1993). 釧路 [弟子屈町] 和琴半島 (中谷・柏崎 2019). その他 [北海道] Yesso (Yezo とされる) (Hubenthal 1905).

大型美麗種なのに採集例, 頭数とも非常に少ない. 水野 (1992b) は「日本のみならず旧北区全体に分布は広いが, 非常に密度の低い虫で, 一挙に多数とれた例は, 大菩薩嶺以外に知らない」と述べていて, 北海道においても同様で, 複数採集された例はないようである.

2. *Phryganophilus auritus* Motschulsky キヌツヤナガクチキ (図 44)

<記録> 上川 [東川町] 旭岳温泉 (石田 2002, 伊藤 2002).

現在の所, 東川町旭岳温泉 (石田 2002) からの一例だけが記録されている. 伊藤 (2002) が報告したものと同一個体.



図 41. ムナクボナガクチキの分布

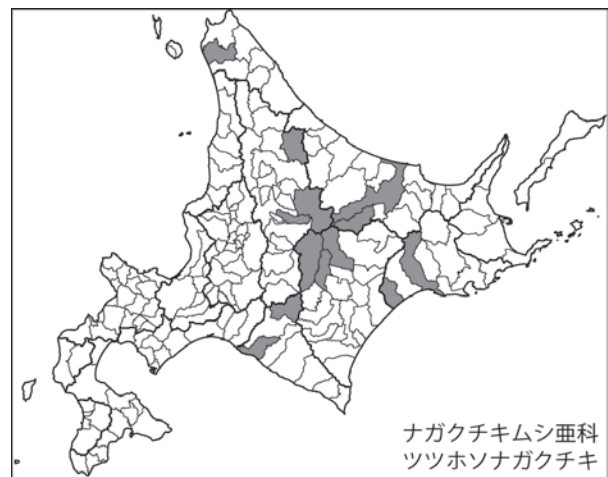


図 42. ツツホソナガクチキの分布



図 43. ムネアカナガクチキの分布

3. *Phryganophilus pseudoauritus* Nikitsky タカネクロナガクチキ (図 45)

<記録> 十勝 [上士幌町] 上士幌町駅前土場 (水野 1994b, 2011), 上士幌町跡土場 (芳賀 1993), 置戸林道 (宮下 1996), 三股 (宮下 1996). [足寄町] オンネトー付近 (芳賀 1993, 久万田ほか 1994). [陸別町] 小利別 (宮下 1994b). 根室 [羅臼町] 羅臼岳下部這い松原 (宮下・館野 1996).

水野 (1992d) では「記録なし, 標本確認」とした個体は, 後に芳賀 (1993) が北海道初記録した個体である. ロシアの沿海州の針葉樹林帯から記載された種で, 日本国内では山梨・長野の両県の亜高山帯から記録されている.

4. *Bozicus hypocrite* Lewis ボウズナガクチキ (図 46・図 6I)

<記録> 石狩 [札幌市] Sapporo (Lewis 1895), 円山 (鈴木 1988, 伊藤 2002, 2009a, 水野 2011). 渡島 [七飯町] Junsai (Lewis 1895).

原記載以後, 石狩管内以外の記録は見当たらない. しかも石狩管内の記録は全て札幌市円山である. 現在の所, 北海道では極めて局地的な分布の種である.

5. *Ivania coccinea* Lewis セアカナガクチキ (図 47)

<記録> 石狩 [石狩市] 旧厚田村 (森 1979). [札幌市] 札幌 (豊嶋ほか 1991b), 札幌市 (水野 2011), 砥山 (鈴木 1988), 円山 (森 1979, 鈴木 1988, 宮下 1993, 伊藤 2002), 藻岩山 (森 1979), 北の沢 (伊藤 1999), 豊平峡 (伊藤 2002, 国土交通省 1999a, 2004a). [恵庭市] 漁川 (国土交通省 1996). [当別町] 当別ダム (北海道 1993). 渡島 [松前町] 明神 (伊藤 2002). 空知 [芦別市] 頼城 (鈴木 1988). [北竜町] 竜西 (伊藤 1999). 上川 [上川町] 日東 (伊藤 2002), 赤石川 (株式会社ドーコン 2008). [東川町] 江卸 (鈴木 1988, 伊藤 2002). [美瑛町] 志比内 (伊藤 2002), 白金美瑛川 (株式会社ドーコン 2006). [士別市] 旧朝日町林内 (伊藤 2002), 岩尾別 (国土交通省 2003b). [旭川市] 東旭川町瑞穂 (鈴木 1988). 留萌 [留萌市] 豊平 (宮下 1993), 幌糠 (宮下 1993). 宗谷 [礼文町] 礼文島 (宮下 1993). [豊富町] 稚咲内防潮林 (大桃 1989). [中頓別町] ポロヌプリ山塊中ノ川林道 (芳賀 1989). オホ [遠軽町] 生田原 (豊嶋ほか 1991b). [北見市] 常呂栄浦 (佐々木ほか 2015). [斜里町] 羅臼岳 (豊嶋ほか 1991b, 伊藤 2002, 水野 2011). 十勝 [帯広市] 岩内仙境 (伊藤 2002). [音更町] 長流枝 (伊藤 2009a). 釧路 [釧路市] 春採湖北岸 (中谷 2016b). [弟子屈町] 和琴半島 (中谷・柏崎 2019). 根室 [羅臼町] Rausu (Nakane 1963), 羅臼岳 (豊嶋ほか 1991b, 伊藤 2002, 水野 2011). [根室市] 九番沢第二支線林道 (伊藤ほか 1999).

6. *Melandrya (Paramelandrya) niponica* Lewis オオナガクチキ (図 48・図 6J)

<記録> 石狩 [札幌市] 藻岩山 (豊嶋ほか 1991b), 定山溪 (豊嶋ほか 1991b). [江別市] 江別市 (江別市 2001), 野幌森林公園 (坂本ほか 1976). [千歳市] 支笏湖 (水野 2011). 後志 [赤井川村] 赤井川村 (北海道環境データベース). 空知 [雨竜町]



図 44. キヌツヤナガクチキの分布



図 45. タカネクロナガクチキの分布



図 46. ボウズナガクチキの分布

暑寒別岳(水野 2011),ペンケタン川上流(宮下 1993). 上川[幌加内町] 母子里(豊嶋ほか 1991b),北母子里泥川林道(水野 2011). [上川町] 上川町(保田 2004),三国峠(伊藤 2002, 2009a),カルシュナイ(伊藤 2002). [東川町] 旭岳温泉(伊藤 2002). [士別市] 奥士別(中根・林 1955). 留萌[増毛町] 暑寒別岳(水野 2011). オホ[斜里町] 羅臼岳(豊嶋ほか 1991b). 胆振[苫小牧市] 苫小牧市(北海道電力株式会社 1998a). 日高[日高町] 日勝峠三国沢(伊藤 2009a). 十勝[新得町] トムラウシ温泉周辺(平野ほか 2017),新トムラシ橋~近別川(平野ほか 2017),トムラシ自然休養林野営場周辺(平野ほか 2017). [上士幌町] 糠平(豊嶋ほか 1991b),幌加(伊藤 2002),三股十四の沢(宮下 1993). 根室[羅臼町] 羅臼岳(豊嶋ほか 1991b).

北海道では採集例は多くないが,伊藤(2009)の日勝峠で採集した個体は,立ち枯れたダケカンバ大径木樹幹より得られた. 水野(1992b)ではヨーロッパ産,韓国産,日本産を比較して *Melandrya dubia* の亜種として *Melandrya dubia niponica* として扱っていたが,水野(2011)では標記学名を使用しているので,ここではこれに従った.

7. *Melandrya (Paramelandrya) flavonotata* Pic ヨツモンナガクチキ (図 49)

<記録> 渡島[長万部町] 上国縫(伊藤 2002). 檜山[せたな町] 旧北檜山町愛知(伊藤 2002),愛知浮島公園(堀 1998, 伊藤 2002). [今金町] 美利河(伊藤 2002). 後志[島牧村] 賀老高原(堀 1998).

堀(1998)は, *Melanndrya quadrisignata* Nakane et Hayashi ヨツボシナガクチキとして報じているが,鮮明な写真が掲載されていることから本種と判断した. 水野(1997)は「図鑑(黒澤ほか 1985)では, *Melanndrya quadrisignata* の学名で図示されているが,朝鮮産の *Melanndrya Flavonotata* と同じと分かり,現在この学名に変更されている」と述べている. これまでに渡島と檜山管内,後志管内南部に記録がある. プナの北限である黒松内低地以南から記録されている.

8. *Melandrya (Melandrya) modesta* Lewis ミヅバネナガクチキ (図 50)

<記録> 石狩[石狩市] 旧厚田町(水野 2011). [札幌市] 札幌(松村 1931, 豊嶋ほか 1991b, 砥山(鈴木 1988). 札幌市(水野 2011),藻岩山(水野 2011),円山(宮下 1993, 伊藤 2002),豊平峡谷ダム(国土交通省 1995, 2004a). [北広島市] 旧広島町野幌(鈴木 1991). [当別町] 当別ダム(北海道 1993). 渡島[松前町] 朝日(伊藤 2002). 檜山[せたな町] 旧北檜山町愛知(伊藤 2002). 空知[美瑛市] 光珠内(石濱・原 2006). 上川[旭川市] 石狩川上流(国土交通省 2004d). [上

川町] 越路中島(保田 1985b, 保田・野田 1985),江差牛山(保田・野田 1985),白川(株式会社構研エンジニアリング 2002),大函(豊嶋ほか 1991b),ニセイチャロマップ川(株式会社建設維持管理センター 1996),三国峠(伊藤 2009a),大函(豊嶋ほか 1991b). [愛別町] 愛別町(豊嶋ほか 1991b). [東川町] 江卸(伊藤 2002). [南富良野町] 石狩川上流(国土交通

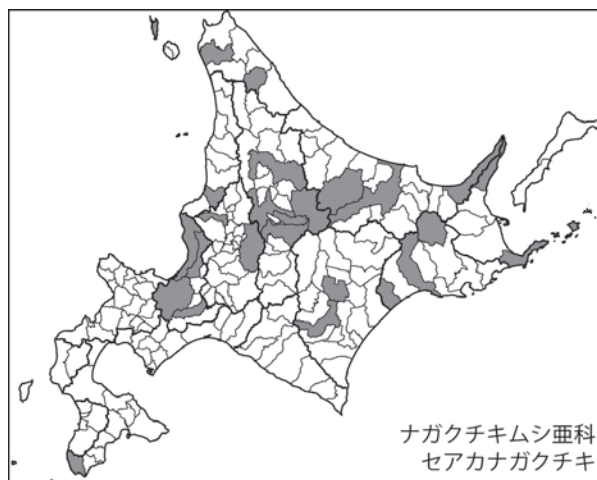


図 47. セアカナガクチキの分布

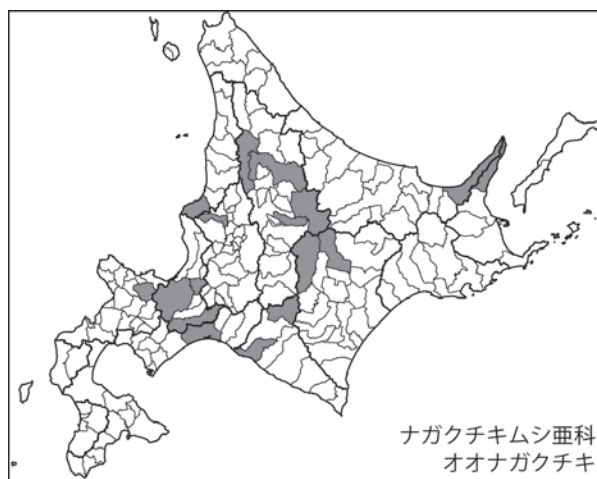


図 48. オオナガクチキの分布



図 49. ヨツモンナガクチキの分布

省 2000a), 下金山 (国土交通省 2001b, 2005d). オホ [斜里町] 羅臼岳 (豊嶋ほか 1991b). 十勝 [新得町] 十勝ダム (国土交通省 2003c, 2004b), トノカリウシュベツ川流域 (平野ほか 2017). [上士幌町] 糠平 (豊嶋ほか 1991b), 三股 (伊藤 2002), シンノスケ五の沢 (宮下 1996). [帯広市] 大正 (伊藤 2002). [芽室町] 美生川流域 (伊藤 2008). [中札内村] 札内川中流 (伊藤 2002). 根室 [羅臼町] 羅臼岳 (豊嶋ほか 1991b).

筆者のうち伊藤は二次林内に設置した FIT (フライングインターセプト) で採集したことがある.

9. *Melandrya (Melandrya) mongolica* Solsky アカアシナガクチキ (図 51)

<記録> 石狩 [札幌市] 札幌 (豊嶋ほか 1991b), 札幌市 (水野 2011), 豊滝 (鈴木 1988), 円山 (伊藤 2002, 水野 2011), 藻岩山 (水野 2011), 手稲山 (水野 2011), 簾舞 (伊藤 2002). [江別市] 野幌 (豊嶋ほか 1991b). [千歳市] 泉沢 (千歳市・千歳市土地開発公社 1986), 支笏湖 (水野 2011). [北広島市] 北広島市 (北海道環境データベース). 後志 [赤井川村] 赤井川村 (北海道環境データベース). 空知 [深川市] 沖里河山 (宮下・杉本 1996). 上川 [下川町] 一の橋 (豊嶋ほか 1991b). [東川町] 江卸 (宮下 1993, 伊藤 2002), 志比内 (伊藤 2002). [美瑛町] 白金 (美瑛町 1988), 忠別 (伊藤 2002). [東神楽町] 東神楽町 (伊藤 2002). [富良野市] 東山 (伊藤 2009a). [南富良野町] 金山湖 (宮下 1995, 北海道環境科学センター 1995). [幌加内町] 添牛内 (伊藤 2002). [士別市] 奥士別 (中根・林 1955). 宗谷 [幌延町] 天塩川下流 (国土交通省 1997b). オホ [北見市] 常呂川 (国土交通省 2010). [大空町] 旧女満別町 (伊藤 2009a). [遠軽町] 生田原町安国 (伊藤 2002), 生田原 (大桃 1989, 宮下 1993). [網走市] 網走市 (国土交通省 2003e). [美幌町] 日並地区 (畔原 2004). 十勝 [上士幌町] 三股 (鈴木 1988), 黒石平 (2exs., 28-VI-2004 菅原豊採集). [音更町] 音和の森 (1ex., 16-VI-2002 菅原豊採集). [陸別町] 小利別 (伊藤 2002). [芽室町] 国見山 (伊藤 2009a), 美生川流域 (伊藤 2008). [池田町] 清見 (伊藤 2009a). [中札内村] 中札内村 (北海道 1982), 札内川ダム (北海道開発局 1985a). [豊頃町] 十勝川 (国土交通省 1998). 釧路 [釧路市] 阿寒町阿寒 (豊嶋ほか 1991b). その他 [北海道] Yezo (Lewis 1895).

比較的採集が容易な種で, 公園, キャンプ場など人工的な施設でも得られることがある.

10. *Melandrya (Melandrya) shimoyamai* Hayashi ルリナガクチキ (図 52)

<記録> 石狩 [札幌市] 円山 (鈴木 1988). [石狩市] 旧厚田村 (水野 2011). 空知 [雨竜町] ペンケタン川上流 (宮下 1993). [長沼町] 長沼町 (国土交通省・北海道開発局 2009). 上川 [上川町] 日東 (伊藤 2002, 2009a). [東川町] 江卸 (伊藤 2002). [美瑛町] 忠別 (伊藤 2002). [幌加内町] 朱鞠内 (豊嶋ほか

1991b). [士別市] 岩尾別ダム (国土交通省 1994b, 2003b). オホ [斜里町] 羅臼岳 (鈴木 1988, 豊嶋ほか 1991b). 十勝 [新得町] トムラウシ (平野ほか 2017). [上士幌町] 三股 (伊藤 2002), 三股音更川左岸 (伊藤 2009a), 三股十三の沢 (伊藤 2009a), 三股十六の沢 (伊藤 2009a). [音更町] 十勝川温泉付近 (石濱・原 2006). [芽室町] 国見山 (伊藤 1999), 御

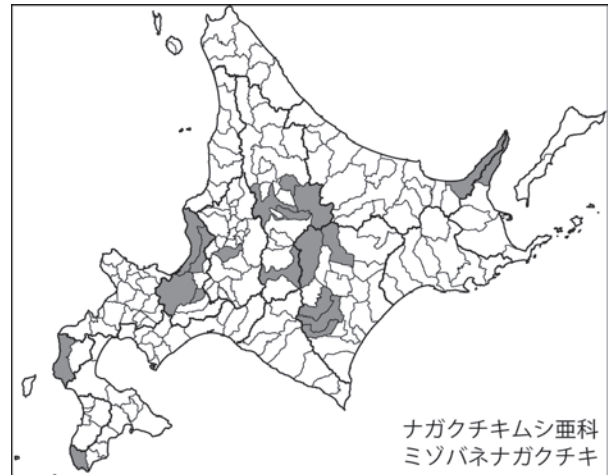


図 50. ミゾバネナガクチキの分布

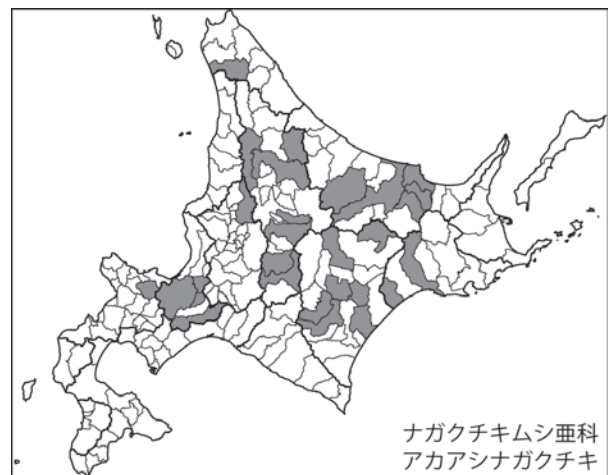


図 51. アカアシナガクチキの分布

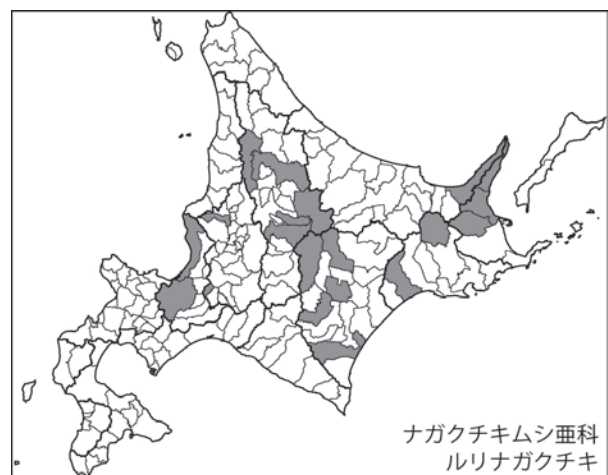


図 52. ルリナガクチキの分布

影（宮下 1993），美生川流域（伊藤 2008）．〔大樹町〕生花苗沼（1ex., 8-VII-1993 柴多浩一採集），ホロカヤントウ沼（堀 1995）．釧路〔弟子屈町〕和琴半島（中谷・柏崎 2019）．〔白糠町〕底路川（北海道 2009）．根室〔羅臼町〕羅臼岳（鈴木 1988，豊嶋ほか 1991b），羅臼温泉（豊嶋ほか 1991b）．〔中標津町〕標津川（北海道 2005a）．〔標津町〕標津川（北海道 2005a）．

鈴木（1988）は北海道初記録を報じている．河川敷などの立ち枯れた広葉樹，衰弱木で得られることが多い．

11. *Melandrya gloriosa* Lewis アオバナガクチキ（図 53）

<記録>石狩〔石狩市〕旧厚田村（水野 2011）．〔札幌市〕篠舞（水野 2011），円山（豊嶋ほか 1991b），定山溪（豊嶋ほか 1991b），八剣山（伊藤 2002），豊平峡（国土交通省 1994a，1995a，1999a，伊藤 2002），砥山（鈴木 1988，伊藤 2002），観音沢（鈴木 1988，伊藤 2002）．〔恵庭市〕恵庭（豊嶋ほか 1991b），漁川（鈴木 1988），漁川ダム（国土交通省 2001c）．〔北広島市〕北広島市（北海道環境データベース）．〔千歳市〕泉沢（千歳市・千歳市土地開発公社 1986），光陽台（伊藤 2002）．渡島〔函館市〕鱒川（棟方 1958），赤沼（棟方 1958）．〔北斗市〕旧上磯町（日本鉄道建設公団 2001）．〔松前町〕福山（伊藤 2002），大沢（伊藤 2002），明神（伊藤 2002）．〔木古内町〕木古内町（日本鉄道建設公団 2001）．〔八雲町〕八雲町（日本鉄道建設公団 2001）．後志〔小樽市〕赤岩山・オタモイ海岸地区（山本 2016）．〔島牧村〕泊カモイ沢（伊藤 1999），大平山（西島ほか 1987）．〔ニセコ町〕羊蹄山麓（石濱・原 2006）．〔倶知安町〕高砂（佐々木 2003）．〔京極町〕京極町（北海道電力株式会社 1999，2010）．〔赤井川村〕赤井川村（北海道環境データベース）．空知〔美瑛市〕光珠内（石濱・原 2006）．〔芦別市〕滝里（北海道開発局 1983，北海道電力株式会社 1995，伊藤 2002，国土交通省 2005a）．〔北竜町〕竜西（伊藤 1999）．〔新十津川町〕新十津川町（北海道開発局 1992）．上川〔上川町〕上川町（保田 2004），愛山溪（鈴木 1988），日東（伊藤 2002，2009a），白川（株式会社構研エンジニアリング 2002），真水沢（国土交通省 2003d，株式会社エコニクス 2011），リクマンベツ川（株式会社開発工営社 2004），陸満リクマンベツ川林道（1ex., 26-VI-2003 芳賀馨採集），層雲峡（保田 1980，1985a，豊嶋ほか 1991b，水野 2011），赤石川（株式会社ドーコン 2008），大雪湖（国土交通省 2001a），三国峠（伊藤 2002，2009a）．〔愛別町〕安足間（豊嶋ほか 1991b）．〔旭川市〕嵐山（佐藤 1991），江丹別（鈴木 1988，佐藤 1991），東鷹栖（佐藤 1991），神楽（佐藤 1991），東旭川町瑞穂（鈴木 1988）．森林公園地先忠別川（国土交通省 2005d）．〔東神楽町〕東神楽町（伊藤 2002），石狩川上流（国土交通省 2005d）．〔東川町〕石狩川上流（国土交通省 2004d），江卸（伊藤 2002），忠別ダム（西島ほか 1981，北海道開発局 1984），天人峡（京浜昆虫同好会 1958）．〔美瑛町〕白金（美瑛町 1988），忠別（伊藤 2002），志比内（伊藤

2002）．〔南富良野町〕下金山（国土交通省 2004d，2005d）．〔士別市〕岩尾別ダム（国土交通省 1997a），温根別ダム（伊藤 2002）．〔下川町〕サンルダム（北海道開発局 1994b）．〔音威子府村〕音威子府村（北海道開発局 1999b）．留萌〔留萌市〕幌糠（水野 2011）．〔苫前町〕霧立（荒木ほか 1988，鈴木 1988，伊藤 2002）．オホ〔遠軽町〕丸瀬布（伊藤 2009a），生田原（宮下 1993）．〔津別町〕津別峠展望台付近（松本・中谷 2010）．〔斜里町〕羅臼岳（伊藤 2002）．日高〔日高町〕千呂露川林道（芳賀 1990b，伊藤 2002），日勝峠（伊藤 2009a），戸蔭別岳千呂露川流域（豊嶋ほか 1991b）．〔新ひだか町〕新ひだか町（北海道 1983）．〔平取町〕沙流川（北海道開発局 1982），幌尻岳（豊嶋ほか 1991b）．〔えりも町〕上歌別（豊嶋ほか 1991b），猿留川林道（宮下・杉本 1993b）．十勝〔新得町〕十勝川上流（日本林業技術協会 1973），十勝ダム（国土交通省 2003c，2004b），ヌブントムラウシ（木村・藤村 1973），十勝川源流部（西島・小野 1982），曙橋～近別大橋（平野ほか 2017），トムラウシ温泉周辺（平野ほか 2017），新得神社山（菅原 1996）．〔上士幌町〕糠平（豊嶋ほか 1991b，芳賀ほか 2010），糠平湖左岸（宮下 1996），幌加（鈴木 1988），黒石平（伊藤 2009a），三股（豊嶋ほか 1991b，伊藤 2002），三股十三の沢（伊藤 2009a），三股十四の沢（伊藤 2009a），三股シンノスケ五の沢（芳賀ほか 2010），音更川本流（宮下 1996）．〔足寄町〕上足寄（伊藤 1998a），喜登牛山（伊藤 2009a），幌加美里別林道（伊藤 2009a），上足寄．〔芽室町〕美生川流域（伊藤 2008）．〔幕別町〕札内（伊藤 2009a）．〔中札内村〕中札内村（北海道 1982，1984，豊嶋ほか 1991b），西札内（伊藤 2009a），札内川ダム（北海道開発局 1985a，国土交通省 2004c）．釧路〔釧路市〕阿寒町双湖台（鈴木 1988）．〔鶴居村〕温根内 VC 周辺（伊藤・平間 1995）．〔弟子屈町〕和琴半島（中谷・柏崎 2019）．〔白糠町〕底路ダム（北海道 1991），底路川（北海道 2009）．根室〔羅臼町〕Rausu（Nakane 1963），羅臼岳（伊藤 2002），羅臼町（水野 2011）．〔標津町〕標津湿原（中谷 2016a）．

大型美麗普通種として，陽光の中を飛ぶので目につきやすいナガクチキで全道的に多くの記録があるが，

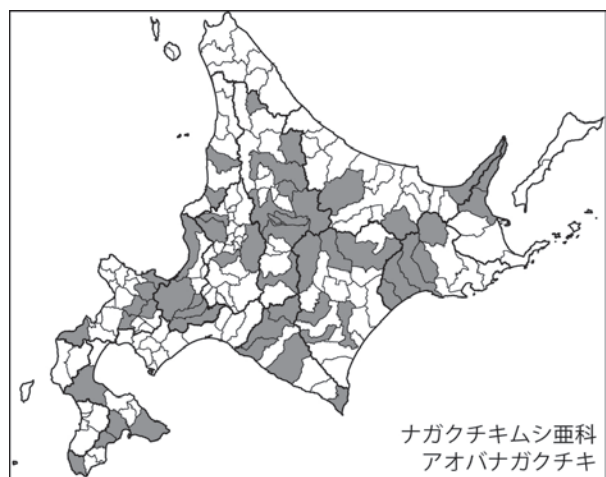


図 53. アオバナガクチキの分布

一度に多数採集されることはあまりない。筆者のうち伊藤は、河川敷の広葉樹倒木からの羽脱を確認している。内陸部の平地から低山地にかけて記録が多い。林縁の立ち枯れた樹木、キャンプ場の薪等伐採木などから得られることがある。

12. *Melandrya rausuana* Nakane ラウスナガクチキ (図
54)

＜記録＞上川〔上川町〕赤石川（株式会社ドーコン 2008），カルシュナイ（伊藤 2002），ユニ石狩沢（伊藤 2002）．〔東川町〕江卸（伊藤 2002）．オホ〔北見市〕留辺蘂町石北峠（水野 2011）．〔斜里町〕羅白岳（鈴木 1988）．十勝〔新得町〕トムラウシ（伊藤 2002），トムラウシ温泉（平野ほか 2017），曙橋～奥十勝橋（平野ほか 2017），霞の滝（平野ほか 2017）．〔上士幌町〕糠平湖右岸五の沢（芳賀ほか 2010），三股（鈴木 1988，豊嶋ほか 1991b，伊藤 2002，2009a，水野 2011），三股十三の沢（伊藤 2009a，芳賀ほか 2010），三股十四の沢（伊藤 2009a），三股シンノスケ三の沢（芳賀ほか 2010）．釧路〔弟子屈町〕高栄（水野 2011），和琴半島（中谷・柏崎 2019）．根室〔羅臼町〕羅白岳（鈴木 1988），Rausu (Nakane 1963)，羅白温泉（豊嶋ほか 1991b）．

北海道では伊藤（2002，2009）で記録されるまで長い間記録がなかったが，豊嶋ほか（1991b）は「北海道では十勝三股と羅臼で数頭が採集されているだけのようと思われる」と述べているが，十勝三股では立ち枯れたアカエゾマツから採集され，1990年代後半に少なくなかった．図 54 に示すように大雪山周辺から羅臼にかけて記録が点在している．

SYNCHROIDAE ヒラタナガクチキムシ科

1. *Synchroa melanotoides* Lewis ヒメコメツキガタナガ
クチキ (図 55)



図 54. ラウスナガクチキの分布

<記録> 石狩 [石狩市] 旧石狩町 (水野 2011). [札幌市] Sapporo (Lewis 1895), 札幌市 (水野 2011), 定山溪 (伊藤 2002, 水野 2011), 簾舞 (伊藤 2002), 真駒内 (伊藤 1999, 2002), 円山 (伊藤 2002). [江別市] 野幌森林公園 (坂本ほか 1976). [千歳市] 泉沢 (千歳市・千歳市土地開発公社 1986). [当別町] 当別町 (北海道環境データベース). 渡島 [函館市] 赤沼 (棟方 1958). [八雲町] 上ノ湯 (棟方 1958). [木古内町] 札刈 (伊藤 2002). [松前町] 明神 (伊藤 2002). [七飯町] Junsai (Lewis 1895), 仁山 (伊藤 2002). [八雲町] 上ノ湯 (棟方 1958), 八雲町 (日本鉄道建設公団 2001). [長万部町] 長万部町 (日本鉄道建設公団 2001). 檜山 [上ノ国町] 上ノ国町 (棟方 1958), 石崎 (伊藤 2002). [せたな町] 旧北檜山町愛知 (伊藤 2002). [今金町] 美利河ダム (国土交通省 2002), 後志利別川 (国土交通省 2007). 後志 [小樽市] 小樽市 (北海道 (事業予定者北海道開発局) 1999, 水野 2011). [俱知安町] 峠下 (佐々木 2003). [黒松内町] 黒松内町 (日本鉄道建設公団 2001). [泊村] 泊村 (北海道電力株式会社 1998b). [神恵内村] 神恵内村 (北海道開発局 1985b). [余市町] ヌッチ川 (北海道 2011d). [赤井川村] 赤井川村 (北海道環境データベース). 空知 [三笠市] 桂沢ダム (国土交通省 2000b, 2005c). 上川 [旭川市] 東鷹栖 (佐藤 1991). [幌加内町] 母子里 (豊嶋ほか 1991a), 朱鞠内 (豊嶋ほか 1991, 水野 2011). [上川町] 真敷別 (保田 2004), 黒岳 (水野 2011). [美瑛町] 白金 (美瑛町 1988), 白金美瑛川 (株式会社ドーコン 2006). [士別市] 奥士別 (中根・林 1955). [下川町] サンプルダム (北海道開発局 1994b). 留萌 [苫前町] 霧立 (荒木ほか 1998, 伊藤 2002). オホ [遠軽町] 丸瀬布 (伊藤 2002, 水野 2011), 生田原 (豊嶋ほか 1991a, 水野 2011). [置戸町] 鹿ノ子ダム (飯島 2015), 鹿ノ子ダム (国土交通省 2004e). [網走市] 嘉多山キャンプ場 (飯島 2015), 網走市 (国土交通省 2003e). [北見市] 北見市 (北海道開発局 2001), 常呂栄浦 (佐々木ほか 2015). 胆振 [むかわ町] 旧穂別町長和 (伊藤 2009a). [苫小牧市] 安平川 (北海道 2011a). [厚真町] 厚幌ダム (北海道 1998). 日高 [新ひだか町] 旧静内町メナシベツ川上流 (堀 1995), 旧静内町西川 (伊藤 2009a). [平取町] 二風谷ダム (国土交通省 2003a).

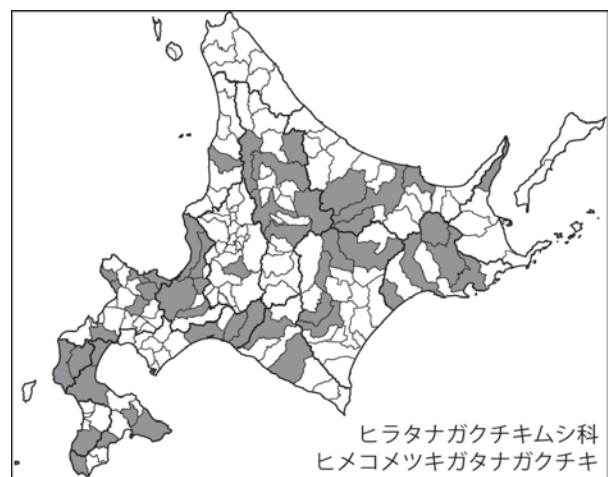


図 55. ヒメコメツキガタナガクチキの分布

十勝〔帯広市〕帯広市（北海道環境データベース）．〔鹿追町〕鹿追町（北海道環境データベース）．〔上士幌町〕黒石平（伊藤 2002, 芳賀ほか 2006）, 糠平（豊嶋ほか 1991a, 芳賀ほか 2010）, 音更川上流（宮下 1996）．〔足寄町〕上足寄（伊藤 1993）, 音子取水ダム（伊藤 2002）, 宇煙ダム（伊藤 2002）．〔芽室町〕美生川流域（伊藤 2008）．釧路〔釧路市〕春採湖北岸（中谷 2020）, 阿寒町阿寒（豊嶋ほか 1991a）．〔厚岸町〕別寒辺牛湿原（中谷・平間 2016）．〔弟子屈町〕屈斜路湖（豊嶋ほか 1991a）, アトサヌプリ（久万田ほか 1994）, 池の湯林道（中谷・平間 2018）．〔標茶町〕ニツ山（飯島 2015）, 五十石（飯島 2015）, 多和（飯島 2015）．根室〔羅臼町〕Rausu (Nakane 1963)．

SYNCHROIDAE ヒラタナガクチキムシ科唯一の種である．灯火に飛来する比較的得やすい種であるが、図 55 に示した通り未記録地域も多数ある．

まとめ

以上、52 種の概要を述べたが、水野（1997）に示された全国の確認種数 109 の約半数が北海道から記録されていることになる．

ナガクチキムシは採集方法が「叩き網法」や偶然の「見つけ採り」に頼ることが多い上、一般にオサムシやカミキリムシと比べて個体密度が薄く、全国的に採集例が少ない．北海道でもその傾向は同様であるが、札幌市円山は古くから良く調査され、多くの種が記録されている．単に多くの人が調査に訪れているからだけではなく、円山自体が明治以来円山周辺の伐採禁止（1873 年行政長官による円山周辺の伐採禁止）、さらに 1921 年には国の天然記念物として保存されてきた．人的干渉を受けやすい低平地、山地下部にあつて温帯北部天然林「円山原始林」そのものが学術研究の対象になるほど貴重な存在になっている．北海道では他に類を見ないほど身近な天然林として昆虫類を含めて豊富な野生生物の生息地になっているのだろう．このことはより詳細な調査が進むと、北海道には札幌市円山に準じた長期間ほぼ自然状態が維持されている場所も他にあるのではないか．このような場所を調査したら新たな発見があるのかもしれない．

ナガクチキは衰弱または枯死した樹木、朽木、菌類に依存する種が多く、今後経済活動等によって生息地が失われると個体密度の薄い種は更に減少し再確認できなくなることもあるだろうし、逆に環境変化・天候変異に適応し繁栄し、分布を拡大て行く種もあるだろう．

昆虫類の中でも特に既知種だけで 13,000 種を超え

る鞘翅目（鈴木 2019）の現地調査に基づく情報の蓄積とそれに基づき目録を作成することは「生物多様性」の解明と保全、そして環境の異常（カタストロフィー）を察知するうえで有効な手段で有り意義があること考える．

筆者等の情報収集の手法に偏りがあつたのかもしれないが、特定地域と特定の執筆者に採集記録が集中している．広い北海道の全地域を限なく調査するのは非常に困難だと思われるが、今後は個人あるいは同好会などの任意団体も確認した種を記録することに努め、公のモニタリング調査にも積極的に参加し後世のもっと優れた調査研究の基礎資料になることを意識して活動していただくことを希望する．

謝 辞

一部標本の同定いただき、貴重な未発表採集記録を提供いただいた上、文献の入手に便宜を図っていただき、本報文作成に有益な助言をいただいた芳賀 馨氏（さいたま市）、文献の入手でお世話になった堀 繁久氏（北海道博物館）、未発表の分布情報の入手でお世話になった菅原 豊氏（音更町）に深謝する．

引用文献

北海道の昆虫の記録を調査するうえで、「上士幌町の甲虫類」（芳賀ほか 2010）と保田信紀氏の大雪山昆虫調査の集大成と言える「大雪山昆虫誌」（保田 2014）の果たす役割は特出したものがある．両著とも分散している膨大な資料を集積し自らの調査経験に基づく独自の視点でまとめられたもので、筆者等は貴重な文献記録を多数引用した．あらためてここに記して両者に感謝し敬意を示すものである．

秋田勝巳, 1989. 北海道におけるカトウヒメナガクチキの採集例. 月刊むし, 224: 38.

芦田 久, 1986. 北海道で採集したナガクチキムシ数種の記録. 北九州の昆虫. 33 (1): 48.

荒木 哲・松本英明・西田貞二・佐々木恵一・鈴木敏春, 1988. 留萌支庁苫前町の甲虫第1報. jezoensis, 15: 81-94.

畔原一夫, 2000. 美幌川上流の昆虫相調査. 美幌博物館研究報告, 8: 41-56.

畔原一夫, 2003a. 美幌町日並地区の昆虫相調査 I. 美幌

- 博物館研究報告, 11: 1-30.
- 畔原一夫, 2003b. 幌川上流の昆虫についてI <網走郡美幌町古梅・新宮線林道>. *Jezoensis*, 29: 15-24.
- 畔原一夫, 2004. 美幌町日並地区の昆虫相調査 II. 美幌博物館研究報告, 12: 1-26.
- 二口 毅, 1992. 岩見沢市における甲虫の記録 —1981年, 1984年, 1985年, 1986年, 1991年の採集記録—. *Jezoensis*, 19: 115-120.
- 芳賀 馨, 1989. 宗谷支庁・天北線沿線で採集した甲虫について. *jezoensis*, 16: 103-121.
- 芳賀 馨, 1990a. 雌阿寒岳と阿寒湖畔で採集した甲虫. *Sylvicola*, 8: 15-21.
- 芳賀 馨, 1990b. 日高支庁日高町千呂露林道で採集した甲虫. *Sylvicola*, 8: 57-64.
- 芳賀 馨, 1993. 上士幌町上士幌駅跡土場で採集された甲虫 —その生態学的意義について—. 上士幌町ひがし大雪博物館研究報告, 15: 1-39.
- 芳賀 馨, 1995. カギモンケシナガクチキの釧路海岸の記録. 甲虫ニース, 111: 4.
- 芳賀 馨, 2001. ニセコメノゴミムシダマシを日高町日勝峠で採集. 甲虫ニュース, 135: 12.
- 芳賀 馨・伊藤勝彦・柴多浩一, 2006. 上士幌町黒石平において道路の水銀灯で採集された甲虫類について. 上士幌町ひがし大雪博物館研究報, 28: 39-58.
- 芳賀 馨・馨柴多浩一・伊藤勝彦・川辺百樹, 2010. 上士幌町の甲虫類. 上士幌町ひがし大雪博物館研究報告, 32: 1-236.
- 雛倉正人, 1989. 西岡水源地の甲虫相. ワイルドライフレポート, 9: 22-41.
- 平野幸彦, 2016. 日本産キノコムシダマシ科について. 神奈川忠報, 189: 75-84.
- 平野幸彦・西川正明・柏崎 昭, 2017. 北海道十勝トムラウシ溪谷産昆虫目録. 神奈川忠報, 194: 9-86.
- 平山修次郎 (監修), 1940. 原色昆虫図譜. 三省堂, 東京, 233p.
- 北海道環境データベース. http://edb.pref.hokkaido.lg.jp/hes_sys/index.html (2020年1月24日閲覧).
- 北海道環境科学研究センター, 1995. 金山湖 昆虫類. 「すぐれた自然地域」自然環境調査報告書.
- 堀 繁久, 1995. 十勝海岸, ナメシベツ川上流 昆虫類. 北海道環境科学センター (編) 「すぐれた自然地域」自然環境調査報告書 大雪山・日勝圏域. pp53-76, 285-304. 北海道環境科学センター, 札幌市.
- 堀 繁久, 1998. 北海道産ナガクチキムシ2種の記録. *jezoensis*, 25: 48.
- 堀 繁久, 2002. 野幌森林公園の甲虫相調査. 昆虫と自然, 37 (12): 9-13.
- 堀 繁久, 2005. 森林総合研究所蔵の古い野幌産昆虫標本1 (鞘翅目). 北海道開拓記念館調査報告書, 44: 9-50.
- Hubenthal, W., 1905. *Phryganophilus ruficollis* F. var. nov. Rosti aus Japan. *Dentsche Ent. Zeitschr.*, 57-58.
- 飯島一雄, 1988. 北海道未記録の甲虫並びに採集記録の少ない種について. *Sylvicola*, 6: 37-38.
- 飯島一雄, 2015. 北海道東部の鞘翅目—ハナノミ科, オオハナノミ科, ヒラタナガクチキムシ科, クビナガムシ科, カミキリモドキ科, キノカワムシ科, アカナネムシ科, クビボソムシ科, ツチハンミョウ科, ハナノミダマシ科, チビキカワムシ科, ツヤキカワムシ科, クチキムシ科, ゴミムシダマシ科, キクイムシ科—. 標茶町郷土館報告, 27: 31-45.
- 入江平吉・坂本 誠, 1977. 北国の虫を求めて. 北九州の昆虫, 24 (2): 37-44.
- 石田浩司, 2002. 北海道におけるキヌツヤナガクチキの記録. ねじればね, 100: 11.
- 石濱宜夫・原 秀穂, 2006. 北海道の落葉広葉樹林に生息する昆虫群集の多様性と林分状況との関係. 北海道林業試験場研究報告, 43: 1-21.
- 伊藤勝彦, 1993. 足寄町上足寄で採集した甲虫 (I), *jezoensis*, 20: 179-185.
- 伊藤勝彦, 1998a. 足寄町上足寄で採集した甲虫 (II). *jezoensis*, 25: 49-53.
- 伊藤勝彦, 1998b. 釧路町円山で採集したナガクチキ3種. *Sylvicola*, 16: 13.
- 伊藤勝彦, 1998c. ミツボシケシナガクチキの北海道の記録. ねじればね, 80: 9.
- 伊藤勝彦, 1999. 北海道産ナガクチキムシの記録 (I). *jezoensis*, 26: 127-128.
- 伊藤勝彦, 2001. 「根室半島の昆虫」鞘翅目の追加目録. *Sylvicola*, 19: 64-67.
- 伊藤勝彦, 2002. 北海道産ナガクチキムシの記録 (II). *jezoensis*, 28: 69-75.
- 伊藤勝彦, 2008. 芽室町美生川流域における甲虫相 (IX). *Sylvicola*, 26: 11-16.
- 伊藤勝彦, 2009a. 北海道産ナガクチキムシの記録 (III)

- . jezoensis, 35: 103-111.
- 伊藤勝彦, 2009b. 「北海道産ナガクチキムシの記録 (II)」の訂正. jezoensis, 35: 112.
- 伊藤勝彦・平間裕介, 1995. 釧路湿原の昆虫. 第4章 鞘翅目. Sylvicola, 別冊II: 57-62, 145-161.
- 伊藤勝彦・平間裕介・中谷正彦, 1999. 根室半島の昆虫, 第3章 IV鞘翅目. Sylvicola, 別冊III: 51-70, 167-211.
- 金沢裕司, 1965. 函館付近の甲虫類 (含範囲外). エゾシロ, 34: 1-8.
- 柏崎 昭, 2003. 浦河町で採取した甲虫2種の記録. Jezoensis, 29: 88.
- 柏崎 昭, 2006. 天売島甲虫相調査報告. Jezoensis, 32: 15-28.
- 柏崎 昭, 2011. 北海道未記録と思われる甲虫の記録. さやばねニューシリーズ, 2: 32.
- 加藤敏行, 1993. オホーツク地方のナガクチキ2種の記録. 月刊むし, 272: 39.
- 木村 宏・藤村俊彦, 1973. 十勝川水系上流地域の昆虫類. 十勝川水系上流地域生態調査報告, 134-153. 日本林業技術協会.
- 木元達之助, 2001. ナガクチキ科甲虫の採集記録. 甲虫ニュース, 136: 13-14.
- 木元達之助, 2007. 東京都でムネモンコナガクチキを採集. 甲虫ニュース, 160: 6.
- 木野田 毅, 1988. 札幌市円山で採集した甲虫. Satuma, 100: 297.
- 京浜昆虫同好会, 1958. 新しい昆虫採集 (上). 内田老鶴圃, 東京. 213p.
- 小林英男 2004. 石狩湾の海浜地帯で得られた小甲虫類について (第5報). Jezoensis, 30: 133-136.
- 小林英男, 2006. 道内における記録の少ない昆虫の記録. jezoensis, 32: 46.
- Kono H., 1930. Die Serropalden aus Sachalin (Col.). Ins. Mats. 5 (1/2): 48-51.
- 河野広道, 1936. 大雪山の昆虫. Biogeographica, 1 (2): 75-104.
- 久万田敏夫・飯島一雄・須摩靖彦・中谷正彦・平間裕介・生方秀紀・小杉時規・芳賀 馨・一條信明, 1994. 阿寒の昆虫. 財団法人前田一步園財団, 阿寒国立公園の自然1993. 991-1189. 財団法人前田一步園財団.
- 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之 (編著), 1985. 原色日本甲虫図鑑 (III). 保育社, 東京. 514p.
- Lewis. G., 1895. On the Cistelidae new to and other Heteromorous species of japan. Ann. Mag. nat. hist., (6) 15: 250-278, 422-448. Pl. 8.
- 松本堅一・中谷正彦, 2010. 阿寒国立公園の昆虫IV — 津別峠展望台付近における分布と生態—. Sylvicola, 28: 11-20.
- 松村松年, 1931. 日本昆虫大図鑑. 刀江書院, 東京. 191p.
- 宮下公範, 1993. 北海道のナガクチキムシ. Antenna, 1: 47-49.
- 宮下公範, 1994a. ヌプントムラウシ温泉で採集した甲虫2種について. Antenna, 2: 6-7.
- 宮下公範, 1994b. 北海道で採集した若干の甲虫類について. Antenna, 2: 16-18.
- 宮下公範, 1995. かなやま湖 昆虫類. 北海道環境科学センター (編) 「すぐれた自然地域」 自然環境調査報告書 大雪山・日勝圏域. Pp185-195, 北海道環境科学センター, 札幌市.
- 宮下公範, 1996. 音更川上流域の甲虫. Antenna, 3: 21-44.
- 宮下公範・杉本 肇, 1993a. 元浦川ニシュマオマナイ林道の昆虫. Antenna, 1: 1-11.
- 宮下公範・杉本 肇, 1993b. 猿留川林道の昆虫. Antenna, 1: 12-23.
- 宮下公範・杉本 肇, 1993c. 新冠町東川周辺の昆虫. Antenna, 1: 36-46.
- 宮下公範・杉本 肇, 1994. 猿留川林道の昆虫II. Antenna, 2: 35-52.
- 宮下公範・杉本 肇, 1996. 深川市沖里河山とその周辺の昆虫類. Antenna, 3: 11-20.
- 宮下公範・館野浩司, 1996. 北海道で採集した若干の甲虫類について. Antenna, 3: 20.
- 水野弘造, 1992b. ナガクチキムシ漫談 (5) 九州産ナガクチキムシの記録と解説 [3]. 北九州の昆虫, 39 (2): 83-92.
- 水野弘造, 1992d. 日本産ナガクチキ科甲虫都道府県別分布表. 関西甲虫談話会資料, 3: 1-63.
- 水野弘造, 1994a. ナガクチキムシ漫談 (8) 九州に居てもよさそうなナガクチキムシ, 北九州の昆虫41 (1): 25-31.
- 水野弘造, 1994b. ナガクチキムシ漫談 (10) 九州に居そうもないナガクチキムシ北九州の昆虫41 (1) 97-104.
- 水野弘造, 1997. 特集かくれた人気甲虫, ナガクチキ

- ムシ. 昆虫と自然32(2): 4-8.
- 水野弘造, 1998. ナガクチキムシ誤同定の訂正. ねじればね, 79: 12.
- 水野弘造, 2011. ナガクチキムシ類. 初宿成彦(編), 大阪市自然史博物館 所蔵 甲虫類目録(1) ゲンゴロウ上科 ゴミムシダマシ科 ナガクチキムシ類. 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第43集, 大阪市立自然史博物館. pp125-197.
- 森 正人, 1979. 北海道未記録ゴミムシ, *jezoensis*, 6: 73-75.
- 森島直哉, 1981. 北海道で採集されたヨツボシホソナガクチキムシ. 月刊むし(128): 30-31,
- 森島直哉, 1984. ナガクチキムシ2種の分布記録. 月刊むし, 166: 28-29. ※以下の文献のどちらか?
- 森島直哉, 1994. 栃木県日光市における日本未記録のナガクチキムシ, 286: 25.
- 棟方啓明, 1958. 函館附近産長朽木虫. エゾシロ, 17: 9-10.
- Nakane T., 1963. New or Little-known Coreoptera from Jaan and its adjacent regions XXV. Sci. rep. Kyoto Pref. univ. (nat. sci. and liv. Sci.), ser. A, 3(5): 237-245.
- 中根猛彦, 1991. 日本の雑甲虫覚え書7. 北九州の昆虫, 38(1): 1-9.
- 中根猛彦・林 匡夫, 1955. 原色日本昆虫図鑑(上). 保育社, 大阪. 346p.
- 中谷正彦, 2016a. 標津湿原の昆虫. 標津町教育委員会, 天然記念物標津湿原保全対策調査報告書—兵背25〜27年度 標津湿原天然記念物緊急調査事業報告書—. pp197-258. 標津町教育委員会.
- 中谷正彦, 2016b. 「釧路市春採湖の昆虫」追加調査報告III. 道東の昆虫と自然, 2: 39-64.
- 中谷正彦, 2017. 「釧路市春採湖の昆虫」追加調査報告IV. 道東の昆虫と自然, 3: 31-45.
- 中谷正彦, 2018. 「釧路市春採湖の昆虫」追加調査報告V. 道東の昆虫と自然, 4: 35-59.
- 中谷正彦. 2020. 「釧路市春採湖の昆虫」追加調査報告VII. 道東の昆虫と自然, 6: 1-24.
- 中谷正彦・平間裕介, 2016. 別寒辺牛湿原の甲虫類. 道東の昆虫と自然, 2: 21-38.
- 中谷正彦・平間裕介, 2018. 阿寒国立公園の昆虫XI—弟子屈町キンム沼付近における分布と生態—. 道東の昆虫と自然, 4: 27-34.
- 中谷正彦・平間裕介・松本堅一, 2010a. 阿寒国立公園の昆虫V—弟子屈町川湯温泉における分布と生態—. *Sylvicola*, 28: 21-42.
- 中谷正彦・平間裕介・松本堅一, 2010b. コウチュウ目. 道東昆虫研究所(編), 摩周湖の昆虫 摩周湖昆虫類調査報告書. pp47-66, 104-124. 弟子屈町教育委員会.
- 中谷正彦・平間裕介・中村 勇, 2015. 「釧路市春採湖の昆虫」追加調査報告II. 道東の昆虫と自然, 1: 37-64.
- 中谷正彦・平間裕介・杉本時規, 2007. 斜里岳道立自然公園の昆虫. *Sylvicola*, 25: 1-47.
- 中谷正彦・柏崎 昭, 2019. 和琴半島の昆虫相 IV コウチュウ目. 道東昆虫研究所(編), 弟子屈町屈斜路湖畔和琴半島の昆虫 道東の昆虫と自然・別冊. pp15-47, 98-159. 道東昆虫研究所.
- 中谷正彦・松本堅一, 2011. 阿寒国立公園の昆虫VI—阿寒湖畔ボッケ周辺における分布と生態II—. *Sylvicola*, 29: 51-75.
- 中谷正彦・松本堅一・阿部圭輔, 2009. 阿寒国立公園の昆虫III—阿寒湖畔ボッケ周辺における分布と生態—. *Sylvicola*, 27: 51-80.
- 西島 浩・小野 決, 1980. 十勝ダム付近の昆虫類. 十勝ダム環境調査報告書, 66-92. 十勝ダム環境アセスメント委員会.
- 西島 浩・小野 決, 1982. 十勝川源流部原生自然環境保全地域における陸生昆虫類. 十勝川源流部原生自然環境保全地域調査報告書, 267-290. 日本自然保護協会.
- 西島 浩・小野 決・佐藤正三, 1981. 忠別ダム付近の昆虫(1980). 忠別ダム環境調査報告書, 48-120. 北海道開発協会.
- 西島 浩・佐々木 均・楠井善久, 1987. 大平山自然環境保全地域及びその周辺地域の昆虫類. 環境庁自然保全局, 大平山自然環境保全地域調査報告書. pp263-291. 環境庁自然保全局.
- 野田佳之・佐々木恵一(1977) 夕張岳で採集した蝶と甲虫について, *jezoensis*4: 21-25.
- 野村 鎮, 1970. 日本産移節類甲虫の分布資料. 昆虫学評論, 22(2): 101-107.
- Nomura S., 1958. Fünf neue Serropalpiden-Artem aus Japan und Formosa (Coleoptera). *Kontyu*, 26: 7-14.

- Nomura S. and A. Kato, 1959. Descriptions of some new Meloidid and Melandryid species and notes on others. *Ent. Rev. Japan*, 10 (1) : 5-9.
- 大原昌宏, 1997. 小樽市奥沢水源地地区昆虫相調査報告 (3) —1995・1996年度における調査概要, および鞘翅目について—. 小樽市博物館紀要, 10: 35-41.
- 大桃定洋, 1989. 甲虫採集in北海道. 北九州の昆蟲, 36 (3) : 181-189.
- 酒井 香, 1967. 昆虫採集案内, 北海道・利尻島, 昆虫と自然 2 (9) : 16-17.
- 坂本与市・門先允昭・渡辺 潔, 1976. 野幌森林公園の甲虫類 III 鞘翅目. 北海道開拓記念館調査報告, 11: 43-80.
- Sasaji H., 1974. Notes on the Japanese Melandryidae, with descriptions of new species (Coleoptera). *Mem. Fac. Educ. Fukui Univ.*, Ser. II, 24: 1-13.
- Sasaji H., 1984. Contribution to superfamily Cucujoidea (Coleoptera) of Japan and her adjacent districts II. *Mem. Fac. Educ. Fukui Univ.*, Ser. II, 24: 1-13.
- 佐々木恵一, 1993. 旭川近郊におけるナガクチキ科2種の記録, *jezoensis*, 20: 192.
- 佐々木恵一・松本英明・鈴木敏春・志藤 宏・石田浩司, 2015. 北海道オホーツク管内北見市常呂栄浦の甲虫相. *jezoensis*, 41: 69-117.
- 佐々木恵一・松本英明, 2018. 北海道オホーツク管内北見市常呂栄浦の甲虫相 (第2報) *jezoensis*, 44: 54-91.
- 佐々木邦彦, 1999. 北海道倶知安町の甲虫類 (I) . *jezoensis*, 26: 113-126.
- 佐々木邦彦, 2003. 倶知安町の甲虫類 (IV) . *jezoensis*, 29: 49-56.
- 佐々木邦彦, 2004. 倶知安町の甲虫類 (V) . *jezoensis*, 30: 27-32.
- 佐藤正三, 1988. 米飯地域, 無脊椎動物. 自然保護調査報告, 11: 87-123.
- 佐藤正三, 1991. 旭川の動・植物, 目録・解説, 無脊椎動物. 自然保護調査報告書総集編, 197-287. 旭川市.
- 菅原 豊, 1996. 新得山の昆虫類. 新得山おもしろ調査隊 (編), 新得神社山調査報告書. pp.201-221. 新得町.
- 鈴木 茂, 1988. 北海道のナガクチキムシ (第1報) . *jezoensis*, 15: 105-110.
- 鈴木 茂, 1991. 札幌市およびその周辺で採集した甲虫類. *jezoensis*, 18: 49-53.
- 鈴木 茂, 2019. 日本列島の甲虫全種目録web版. <https://japanesebeetls.jimdofree.com/>. (2020年1月24日閲覧)
- 田口 明, 1981. 北海道未記録?の昆虫 (2) . 昆虫と自然, 16 (8) : 39.
- 多比良嘉晃, 1993. 石川 均氏採集の北海道の昆虫類. 北九州の昆蟲, 40 (1) : 47-51.
- 豊嶋亮司・石川 豊・水野弘造, 1991a. 北海道のナガクチキムシ (上) . 月刊むし, 243: 27-31.
- 豊嶋亮司・石川 豊・水野弘造, 1991b. 北海道のナガクチキムシ (下) . 月刊むし, 245: 14-19.
- 山本亜生, 2003. 小樽市桂岡地区昆虫相調査報告 (2) —2001, 2002年度における調査概要, および鞘翅目について—. 小樽市博物館紀要, 16: 19-36.
- 山本亜生, 2006a. 小樽市桂岡地区昆虫相調査報告 (5) —鞘翅目—. 小樽市博物館紀要, 19: 7-13.
- 山本亜生, 2006b. 小樽市奥沢水源地地区昆虫相調査報告 (26) —鞘翅目—. 小樽市博物館紀要, 19: 19-22.
- 山本亜生, 2016. 小樽市赤岩山・オタモイ海岸地区昆虫調査報告書 (2) —鞘翅目の記録—. 小樽市総合博物館紀要, 29: 1-9.
- 山之内 統, 1975. 天宝山の昆虫相. ひがし大雪博物館友の会会報, 1: 33-61.
- 保田信紀, 1978. 上川町 (大雪山・石狩川源流地域) の甲虫類 第Ⅲ報. 上川町の自然, 3: 148-155.
- 保田信紀, 1979. 上川町 (大雪山・石狩川源流域) の甲虫類 第Ⅳ報. 上川町野自然, 4: 83-87.
- 保田信紀, 1980. 上川町 (大雪山・石狩川源流地域) の甲虫類 第Ⅴ報. 上川町の自然, 5: 91-96.
- 保田信紀, 1981. 層雲峡博物館に所蔵される昆虫類標本目録 第Ⅱ報, (北海道産甲虫類標本) . 層雲峡博物館研究報告, 1: 15-37.
- 保田信紀, 1985a. 上川町 (大雪山・石狩川源流地域) の甲虫類 第Ⅹ報 (総目録) . 上川町の自然生物総目録集, 111-167.
- 保田信紀, 1985b. 江差牛山地域の甲虫類 (北海道上川町) . 上川町の自然, 10: 71-88.
- 保田伸紀, 1996. 上川町大雪湖 (石狩川上流) の昆虫類 (鞘翅目・鱗翅目) . 上川町の自然, 19: 1-40.
- 保田信紀, 2004. 北海道上川産甲虫目録. 層雲峡ビジターセンター研究報告, 24: 19-43.

保田信紀, 2009. 北海道上川町産甲虫類目録(追加種).
Jezoensis, 35: 89-98.

保田信紀, 2014. 大雪山昆虫誌. 北海道自然史研究会, 札幌. 512p.

保田信紀・野田佳之, 1980. 留辺志部川地域における甲虫類採集記録. 上川町の自然, 5: 25-28.

保田信紀・野田佳之, 1985. 糖蜜トラップによる江差牛山の甲虫類相調査(北海道上川町). 上川町の自然, 10: 59-70.

非公開報告書

美瑛町, 1988. 昆虫類. JHZ計画現状調査書, 91-150. 美瑛町.

千歳市・千歳市土地開発公社, 1986. 千歳市泉沢地区第2期開発事業に係る環境影響評価書.

江別市, 2001. 江別RTN地区第2期開発事業に係る環境影響評価書.

北海道, 1982. 一般道道静内中札内線道路事業調査計画路線沿い動植物等現況調査報告書.

北海道, 1983. 一般道道静内中札内線道路事業調査計画路線沿い動植物等現況調査報告書(その2)

北海道, 1984. 一般道道静内中札内線道路事業調査計画路線沿い動植物等現況調査報告書(その3).

北海道, 1991. 庶路ダム建設事業に係る環境影響評価書(確定)

北海道, 1993. 石狩川水系当別川当別ダム建設事業 環境影響評価書.

北海道, 1998. 厚幌ダム建設事業に係る環境影響評価書(確定).

北海道, 2003. 佐呂間別川水系河川整備基本方針.

北海道, 2005a. 標津川水系河川整備計画.

北海道, 2005b. 畚部川水系河川整備計画.

北海道, 2009. 庶路川水系河川整備計画(変更案).

北海道, 2011a. 安平川水系河川整備基本方針.

北海道, 2011b. 十勝川右岸圏域河川整備計画.

北海道, 2011c. シャミチセ川水系河川整備計画.

北海道, 2011d. スッチ川水系河川整備基本方針.

北海道(事業予定者北海道開発局), 1999. 小樽都市計画道路1・3・1小樽山手通 余市都市計画道路1・3・1余市望海台通(余市町～小樽市間 自動車専用道路) 環境影響評価書.

北海道電力株式会社, 1995. 滝里発電所設置計画に係る環境影響評価書.

北海道電力株式会社, 1998a. 苫東厚真発電所石炭灰埋立場設置に係る環境影響評価書.

北海道電力株式会社, 1998b. 泊発電所3号機設置計画に係る環境影響評価書.

北海道電力株式会社, 1999. 京極発電所設置計画に係る環境影響評価書

北海道電力株式会社, 2010. 京極発電所補足調査結果報告書(平成22年度)

北海道開発局, 1982. 沙流川総合開発事業(二風谷ダム・平取ダム) 環境影響評価報告書.

北海道開発局, 1983. 滝里ダム建設事業環境影響評価報告書.

北海道開発局, 1984. 忠別ダム建設事業環境影響評価報告書.

北海道開発局, 1985a. 札内川ダム建設事業環境影響評価報告書.

北海道開発局, 1985b. 一般国道229号(積丹町・神恵内村地内) 整備事業環境影響評価報告書.

北海道開発局, 1989. 留萌川水系留萌ダム建設事業環境影響評価書.

北海道開発局, 1992. 一般道道増毛当別線暑寒道路 環境影響調査報告書.

北海道開発局, 1994a. 石狩川水系幾春別川総合開発 事業環境影響評価書.

北海道開発局, 1994b. 天塩川水系サンルダム建設事業 環境影響評価書.

北海道開発局, 1998. 一般国道40号幌富バイパス(幌延町～豊富町) 環境影響評価書.

北海道開発局, 1999a. 一般国道44号根室道路(根室市) 環境影響評価書.

北海道開発局, 1999b. 一般国道40号音威子府バイパス(音威子府村～中川町) 環境影響評価準備書.

北海道開発局, 2009. 忠別ダムモニタリング部会 第6回資料(動物・植物・生態系参考資料).

北海道開発局, 2001. 一般国道39号線北見バイパス(北見市～端野町) 環境影響評価書.

株式会社エコニクス, 2009. 平成20年度 施行安足間川外水と緑の環境調査業務報告書.

株式会社エコニクス, 2010. 安足間及び小学校の沢平成21年度分報告書.

株式会社エコニクス, 2011. 石狩川砂防事業の内 安足間川外水と緑の環境調査業務報告書.

株式会社開発工営社, 2004. 平成16年度 石狩川砂防事

業の内リクマンベツ川環境調査業務。
株式会社建設維持管理センター, 1996. 平成7年度 石狩川砂防業務の内 水と緑の溪流づくり検討業務報告書。
株式会社構研エンジニアリング, 2002. 平成14年度 石狩川砂防事業の内 白川環境調査 (st. 11, st. 12, 3号堰堤)。
株式会社ドーコン, 2006b. 平成17年度 石狩川砂防事業の内ポンアンタロマ川環境調査業務報告書。
株式会社ドーコン, 2008. 平成19年度 石狩川砂防事業の内赤石川環境調査業務報告書。
国土交通省, 1993a. 平成5年度 金山ダム河川水辺の国勢調査報告書 陸上昆虫類等調査編 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 1994a. 直轄堰堤維持の内 豊平峡ダム外自然環境調査業務 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 1994b. 直轄堰堤維持の内 岩尾内ダム自然環境調査検討業務 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 1994c. 平成5年度 金山ダム河川水辺の国勢調査報告書 陸上昆虫類等調査報告書。
国土交通省, 1994d. 平成6・7年度 石狩川下流陸上昆虫類等調査報告書 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 1995a. 平成7年度 直轄堰堤維持の内 豊平峡ダム外自然環境調査 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 1996a. 漁川自然環境調査報告書 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 1997a. 直轄堰堤維持の内 岩尾内ダム自然環境調査検討業務 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 1997b. 平成9年度 天塩川水系 (天塩川下流) 陸上昆虫類等調査報告書 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 1998. 平成10年度十勝川陸上昆虫類等調査報告書 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 1999a. 平成10年度 直轄堰堤維持の内 豊平峡ダム外自然環境調査業務 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 1999b. 平成11年度 直轄堰堤維持の内 豊平峡ダム外自然環境調査業務 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 2000a. 石狩川上流水辺環境調査 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 2000b. 直轄堰堤維持の内桂沢ダム・漁川ダム自然環境調査業務報告書 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 2001a. 平成12年度直轄堰堤維持の内, 大雪ダム自然環境調査業務報告書 (概要版): (陸上昆虫類調査, 底生動物調査) (河川水辺の国勢調査)。

国土交通省, 2001b. 平成12年度河川水辺の国勢調査業務 (石狩川上流陸上昆虫類等調査) 報告書。
国土交通省, 2001c. 直轄ダム周辺環境整備事業の内 漁川ダム自然環境調査業務。
国土交通省, 2002. 美利河ダム直轄堰堤維持の内 ダム自然環境調査業務 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 2003a. 二風谷ダム直轄堰堤維持の内 自然環境調査業務 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 2003b. 平成15年度直轄堰堤維持の内 岩尾内ダム自然環境調査業務 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 2003c. 平成15年度十勝ダム直轄堰堤維持の内ダム自然環境調査業務 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 2003d. 平成14年度 河川水辺の国勢調査・水と緑の溪流づくり調査 平成14年度調査結果 (真水沢第一号堰堤)。
国土交通省, 2003e. 平成15年度 網走川外3河川 河川水辺の国勢調査業務 陸上昆虫類等調査 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 2004a. 平成16年度 施行直轄堰堤維持の内 豊平峡ダム外自然環境調査業務 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 2004b. 平成15年度 直轄堰堤維持の内 十勝ダム自然環境調査業務報告書 (概要版): (陸上昆虫類調査) (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 2004c. 札内川ダム直轄堰堤維持の内 自然環境調査業務 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 2004d. 石狩川上流河川水辺の国勢調査業務 (石狩川上流陸上昆虫類等調査) (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 2004e. 鹿ノ子ダム堰堤維持の内 ダム自然環境調査業務 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 2005a. 直轄堰堤維持の内 滝里ダム自然環境調査業務 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 2005b. 平成17年度 網走川外3河川 河川水辺の国勢調査 (陸上昆虫類等) (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 2005c. 直轄堰堤維持の内桂沢ダム自然環境調査業務 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 2005d. 平成16年度 河川水辺の国勢調査業務 (石狩川上流陸上昆虫類等調査) 報告書。
国土交通省, 2007. 後志利別川水系河川水辺の国勢調査業務 (河川水辺の国勢調査)。
国土交通省, 2009. 網走川外3河川水辺の国勢調査 (河川水辺の国勢調査)。

- 国土交通省, 2010. 平成22年度 網走川外 河川水辺の国勢調査業務 (常呂川水系・陸上昆虫類等調査) (河川水辺の国勢調査).
- 国土交通省・北海道開発局, 2009. 地域高規格道路道央圏連絡道路長沼町～江別市間 環境影響評価書.
- 日本林業技術協会, 1973. 十勝川水系上流地域の昆虫類. 十勝川水系上流地域生態調査報告.
- 日本林業技術協会, 1987. 糠平温泉山スキー場再開発計画環境影響調査報告書. 糠平温泉リフト株式会社, 上士幌町.
- 日本鉄道建設公団, 2001. 北海道新幹線 (新青森・札幌間) 環境影響評価書 (北海道) /北海道新幹線 (新青森・札幌間) 環境影響評価書資料編 (北海道).
- 農林水産省・北海道開発局, 1995. 夕張シューパロダム建設事業環境影響評価書.
- 札幌市, 1994. 第3山口処理場建設に係る環境影響評価書.
- 特定非営利活動法人霧多布湿原トラスト, 2010. 経団連2009現地調査.

Summary

The authors clarified the distribution of the families, Tetratomidae, Melandryidae and Synchronidae (Coleoptera) in Hokkaido, based on published literature. The 52 species distributed in Hokkaido were recognized and locality information was reported. This is equivalent to about half of all species in Japan.